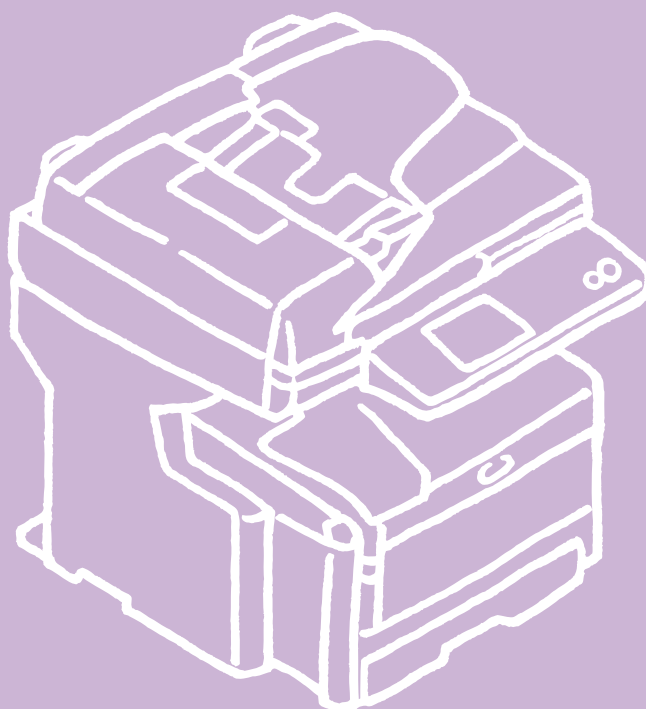
OKI

ユーザーズマニュアル

パソコンから管理/設定しよう

ユーティリティーソフトウェア編

MC852dn
MC862dn
MC862dn-T

COREFIDO コアフィード

目次

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア

ユーティリティーの一覧

Windows/Macintosh 共通ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照ページ
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	各色の CMYK 色とハーフトーン濃度を調整することで、画像の濃度を調整できます。	● Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 ● Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	35 ページ
カラー調整ユーティリティ	カラーマッチングを調整します。 パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相･色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。		14 ページ
Web ブラウザ	本機に表示されているメッセージを確認したり、ネットワークの設定の他、各種設定を行うことができます。	Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上、または、Safari がインストールされ、TCP/IP で動作しているコンピューター	便利な機能 / 本体の設定編
プリントジョブ アカウンティングクライアント	ユーザー名とユーザー ID をプリンタードライバーに設定します。	● Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 ● Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	71 ページ 93 ページ

Windows ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照ページ
Configuration Tool	本機のアクセス制御設定とメニューの変更、E メールアドレス、短縮ダイヤル番号、プロファイル、PIN 番号、自動配信設定ができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	40 ページ
色見本印刷ユーティリティ	色見本を印刷します。このユーティリティーでは、印刷する色を確認できます。このユーティリティーは、プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	89 ページ
OKI LPR ユーティリティ	ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、本機の状態を確認することができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 TCP/IP で動作しているコンピューター	78 ページ
Network Extension	プリンタードライバーから本機の設定項目を確認したり、オプション構成の設定ができます。 ネットワーク接続でプリンタードライバーをインストールした時は、自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 TCP/IP で動作しているコンピューター	85 ページ
PrintSuperVision MultiPlatform Edition ※ 1	ネットワークに接続される本機やプリンターを管理する Web ベースのアプリケーションです。複数の装置の設定情報や消耗品情報を確認できます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 詳しくは沖データホームページをご覧ください。	-
Web Driver Installer ※ 1	ネットワーク接続される本機やプリンターを表示し、プリンタードライバーインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピューターにインストールする Web アプリケーションです。	Windows Server 2003/ Windows XP Professional 日本語版 詳しくは、沖データホームページをご覧ください。	-
TELNET	本機のネットワークの設定をすることができます。		88 ページ
PDF Print Direct	アプリケーションを起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	68 ページ
プリンタ表示言語セットアップ	操作パネルやメニューの表示言語を変更できます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	76 ページ
ActKey	読み取った画像を、指定したアプリケーションへ転送したいとき、電子メールクライアントソフトウェアのメールに添付したいとき、コンピューター内の指定したフォルダーへ保存するとき、PC-Fax ソフトウェアでファクス送信を行いたいときに使用します。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	便利な機能 / 本体の設定編

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照ページ
プリントジョブアカウンティングLite ※ 1	ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うことができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	69 ページ

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

Macintosh ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照ページ
プロファイルアシスタント　※ 1	本機のハードディスク内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバーの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	98 ページ
パネル言語セットアップ	操作パネルやメニューの表示言語を変更できます。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	92 ページ
NIC 設定ツール	ネットワークの設定ができます。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	96 ページ

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

ユーティリティーをインストールする

Windows の場合

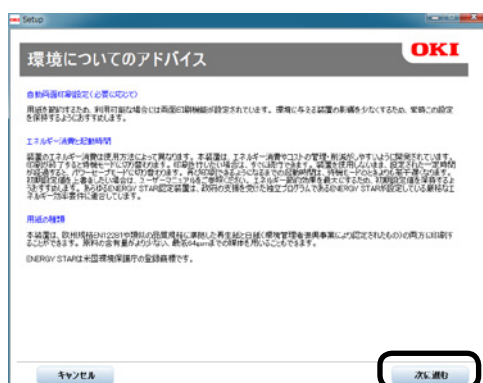
以下の手順で、お使いになりたいユーティリティーソフトウェアをインストールします。

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

2 [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。

3 [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

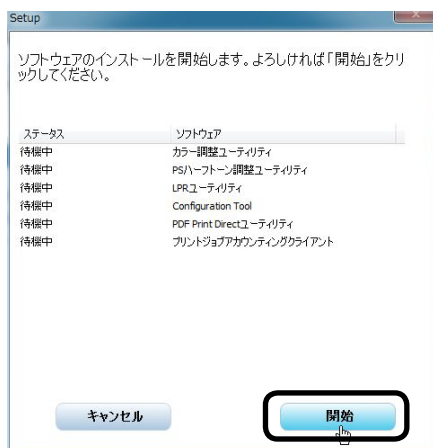
4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

5 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 装置の接続方法を選択し、「次に進む」をクリックします。（本例ではネットワーク接続を選択します。）

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 インストールしたいソフトウェアにチェックを付け、「インストール」をクリックします。

10 ソフトウェアを確認し、「開始」をクリックします。

11 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

12 メニュー画面で「終了」をクリックすると終了します。

Macintosh の場合

ドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。「ソフトウェア DVD-ROM」から直接起動することもできます。

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

2 [OKI] ＞ [Utilities] フォルダーをダブルクリックします。

3 インストールしたいユーティリティーのフォルダーをドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。

メモ

- 起動するにはフォルダー内のユーティリティーアイコンをダブルクリックします。

2 Windows/Macintosh 用ユーティリティー

カラー調整ユーティリティ

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

パレットカラーを変更する（Windows）

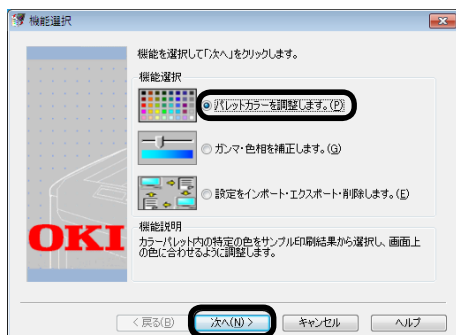
カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

! 注

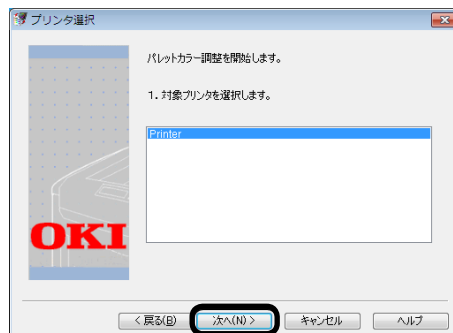
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- プリンタードライバーごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の「機器管理」をご覧ください。

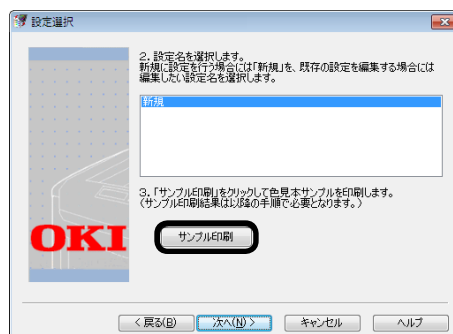
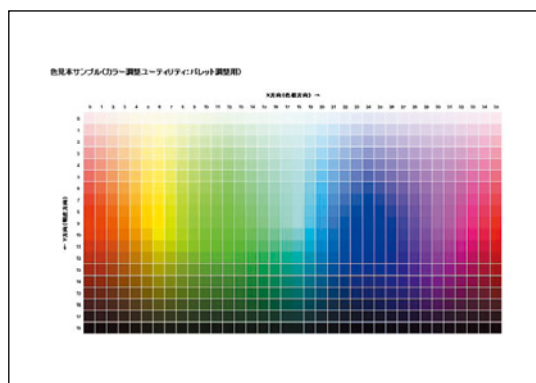
1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

(1) カラー調整ユーティリティを起動します。

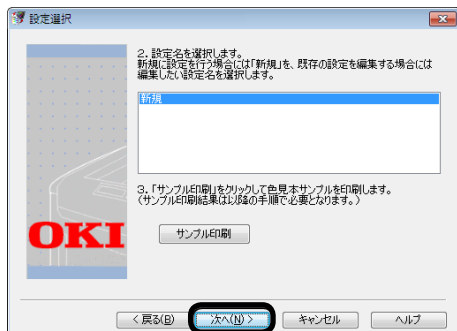
(2) ［パレットカラーを調整します］を選択し、［次へ］をクリックします。

(3) 「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用する装置を選択し、［次へ］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ

- インストールされているプリンタードライバーが表示されます。プリンタードライバーごとに設定を行ってください。

(4) 「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

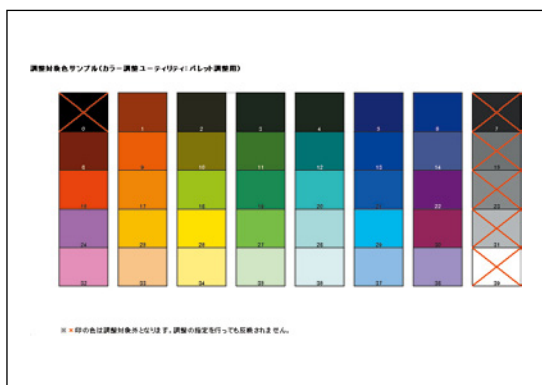
（色見本サンプル）

(5) ［次へ］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

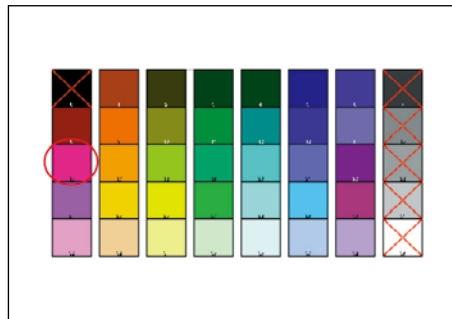
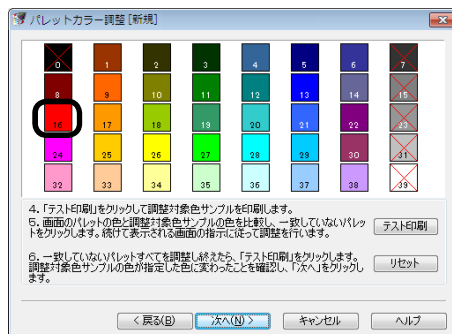
(6) ［テスト印刷］をクリックします。

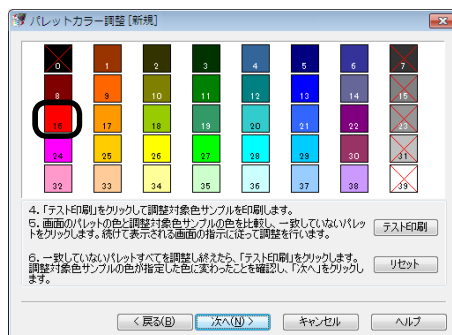
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

（調整対象色サンプル）

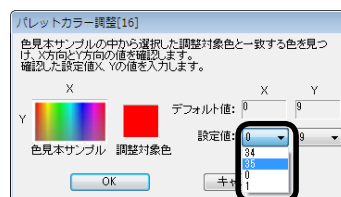
注

- ×印がついている色は調整できません。

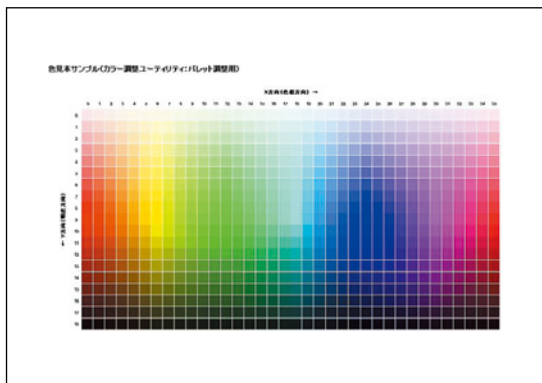
(7) 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

- 調整対象色サンプル

- 「パレットカラー調整」画面

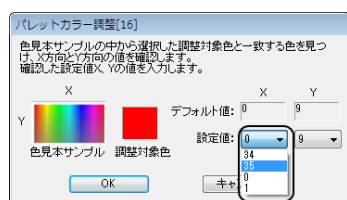
(8) 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

(9) X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ

- 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

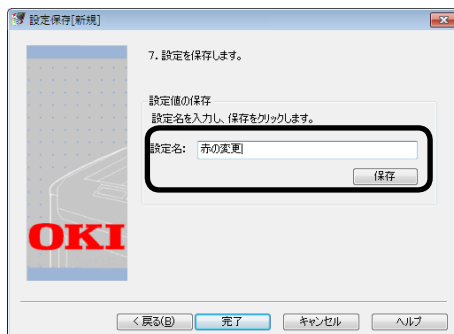
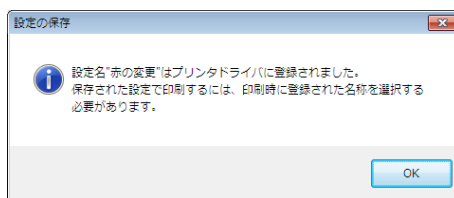
(10)「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

(11)「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

(12)「調整値入力」画面で、(10) で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

(13) [テスト印刷] をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、[次へ] をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、(8) ～ (13) を繰り返します。

(14) 設定の名前を入力し、[保存] をクリックします。

(15) [OK] をクリックします。

注

- プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

(16) [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタードライバーで設定名を選択し、印刷します。

❏ Windows PS プリンタードライバーの場合

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

(4) ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

(5) 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

注

- プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

(6) 印刷します。

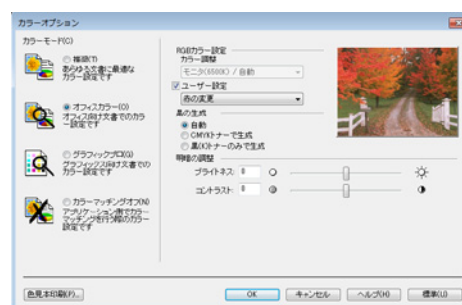
❏ Windows PCL プリンタードライバーの場合

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

(4) ［基本設定］タブの［カラー・モノクロオプション］をクリックし、［オフィスカラー］を選択します。

(5) ［ユーザー設定］をチェックし、カラー調整ユーティリティーで作成した設定を選択して、[OK] をクリックします。

(6) 印刷します。

パレットカラーを変更する（Macintosh）

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

注

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の「機器管理」をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

(1) カラー調整ユーティリティーを起動します。

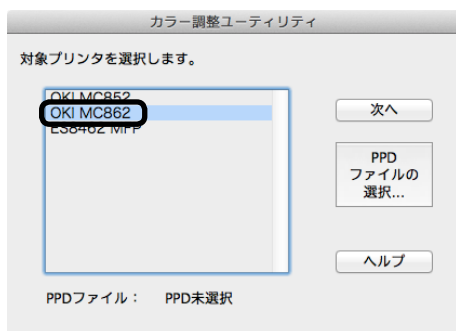
カラー調整ユーティリティ

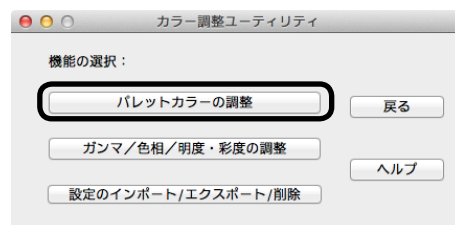
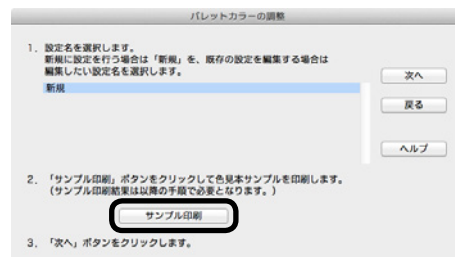
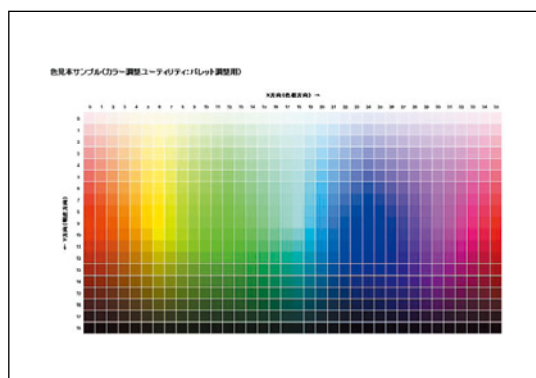
(2) 対象装置を選択します。

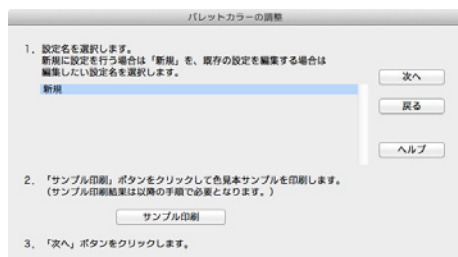
メモ

- 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

(3) ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ

- カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

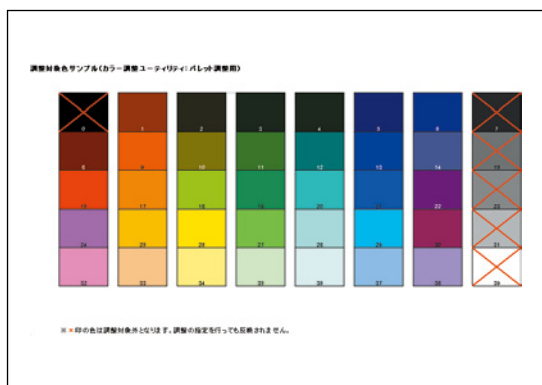
(4) ［パレットカラーの調整］をクリックします。

(5)「パレットカラーの調整」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

(6) ［次へ］をクリックします。

(7) ［テスト印刷］をクリックします。

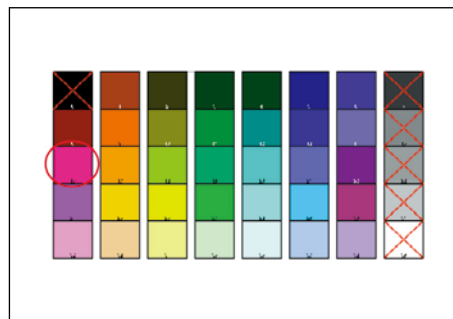
メモ

- 画面左下部に (3) で選択した PPD ファイル名が表示されます。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

注

- ×印がついている色は調整できません。

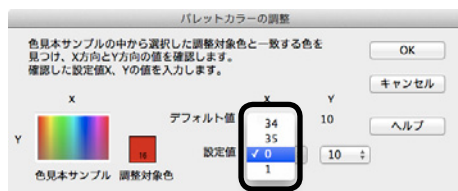
(8) 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

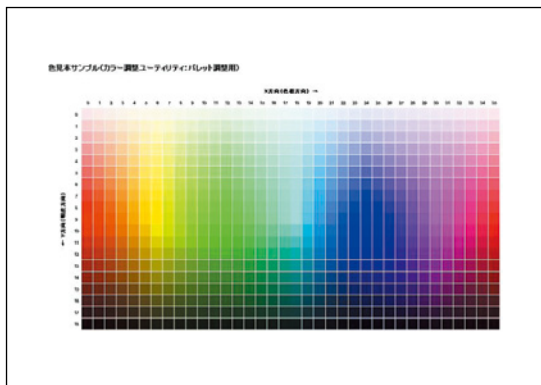
- 調整対象色サンプル

- 「パレットカラー調整」画面

(9) 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

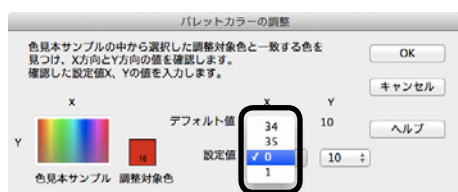
「調整値入力」画面が表示されます。

(10) X 値、Y 値のポップアップメニューで調整可能な範囲を確認します。

メモ

- 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

(11)「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

(12)「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

(13)「調整値入力」画面で、(11) で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

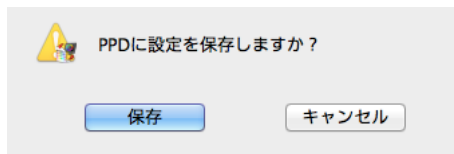
(14) [テスト印刷] をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認します。

他にも調整したい色がある場合は、(9) ～ (14) を繰り返します。

(15) 設定名を入力し、[保存] をクリックします。

(16) (3) で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、[保存] をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

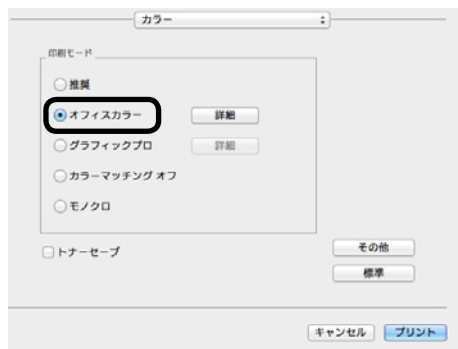
[キャンセル] をクリックすると、設定はユーティリティーにも PPD ファイルにも保存されません。

(17) [終了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

(18) Mac OS X の場合、[プリンタ設定ユーティリティ] に登録されているカラー調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

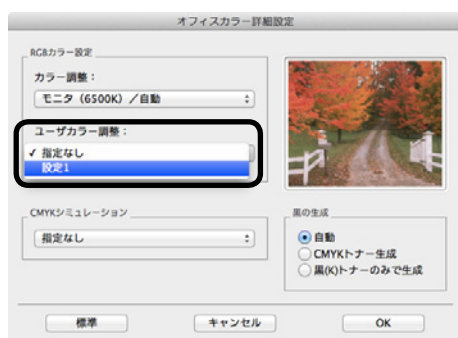
2 プリンタードライバーで設定名を選択し、印刷します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

(3) ［カラー］パネルで［オフィスカラー］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の [詳細を表示] ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

(4) ［詳細］ボタンをクリックし、［オフィスカラー詳細設定］ダイアログ内の［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

(5) 印刷します。

ガンマ値や色相を変更する（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

注

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- プリンタードライバーごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の「機器管理」をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

(1) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

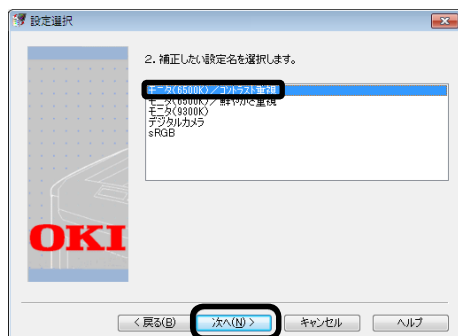
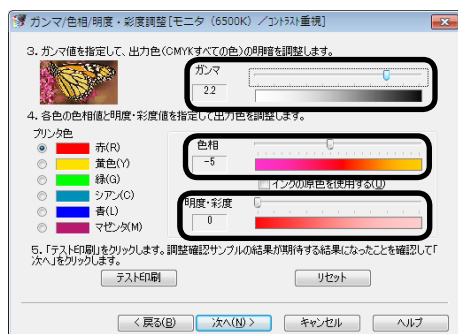
(2) ［ガンマ･色相を補正します］を選択し、［次へ］をクリックします。

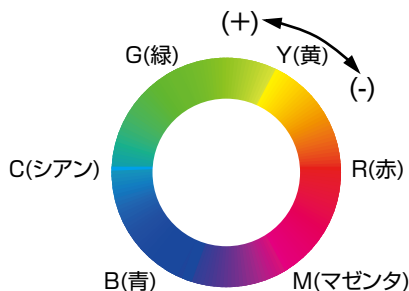
(3) 「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整する装置を選択し、［次へ］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ

- インストールされているプリンタードライバーが表示されます。プリンタードライバーごとに設定を行ってください。

(4) リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

(5) ガンマ、色相、明度･彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ

- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンター色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（+）または逆方向（−）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（+）方向に動かすとG（緑）に近づき、（−）方向に動かすとR（赤）に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンター色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% + イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% + イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% + マゼンタトナー 100%

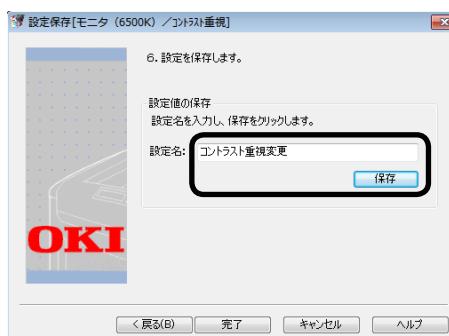
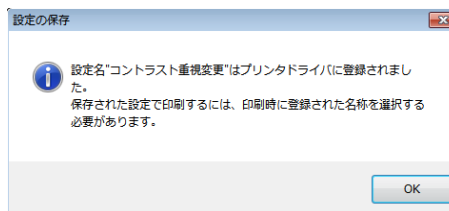
(6) ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

(7) 調整結果を確認します。

希望する調整結果が得られない場合は、手順(5)、(6)を繰り返します。

(8) ［次へ］をクリックします。

(9) 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

(10) ［OK］をクリックします。

注

- プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

(11) ［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタードライバーで設定名を選択し、印刷します。

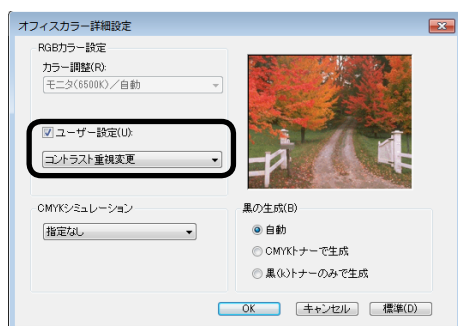
❑ Windows PS プリンタードライバーの場合

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

(4) ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

(5) 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

(6) 印刷します。

! 注

- プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

❑ Windows PCL プリンタードライバーの場合

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

(3)) [詳細設定] をクリックします。

(4) ［基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[オフィスカラー] を選択します。

(5) [ユーザー設定] をチェックし、カラー調整ユーティリティで作成した設定を選択して、[OK] をクリックします。

(6) 印刷します。

ガンマ値や色相を変更する（Macintosh）

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

注

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の「機器管理」をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

(1) カラー調整ユーティリティを起動します。

カラー調整ユーティリティ

(2) 対象装置を選択します。

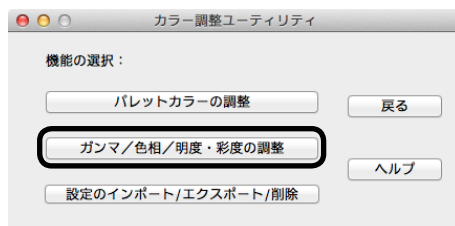
メモ

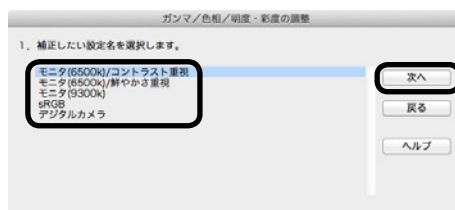
- 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

(3) ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

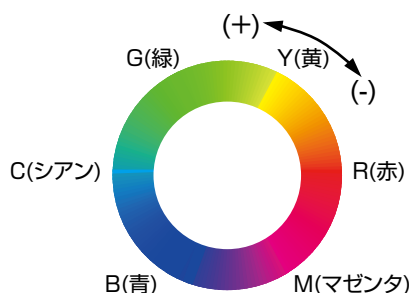
メモ

- カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

(4) ［ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整］をクリックします。

(5)「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面が表示されたら、リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

1 本機で利用できるユーティリティー／ソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

(6) ガンマ、色相、明度･彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ

- 画面左下部に (3) で選択した PPD ファイル名が表示されます。
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンター色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（−）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすと G（緑）に近づき、（−）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100% の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

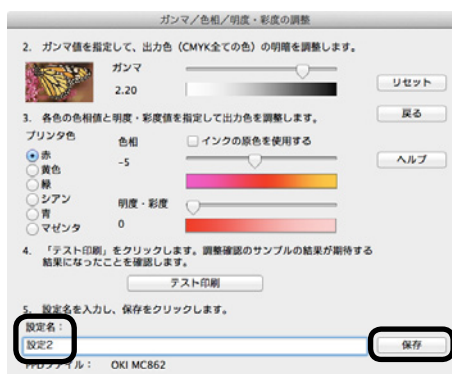
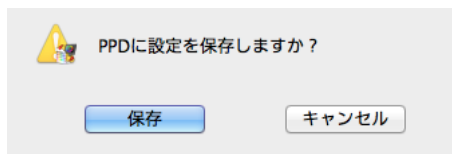
プリンター色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

(7) ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

(8) 調整結果を確認します。

希望する調整結果が得られない場合は、手順 (6)、(7) を繰り返します。

(9) 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

(10) (3) で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティーにも PPD ファイルにも保存されません。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

(11) カラー調整ユーティリティを終了します。

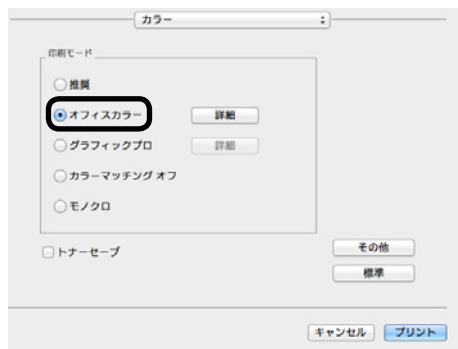
(12) Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

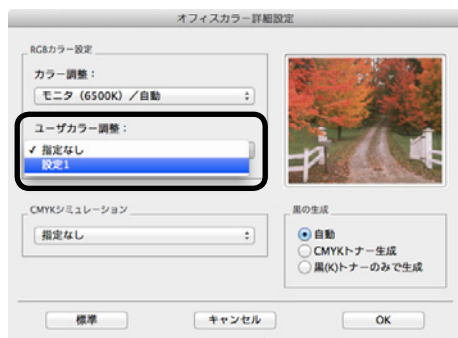
2 プリンタードライバーで設定名を選択し、印刷します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［カラー］パネルで［オフィスカラー］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

(4) ［詳細］ボタンをクリックし、［オフィスカラー詳細設定］ダイアログ内の［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

(5) 印刷します。

カラー調整の設定を保存する（Windows）

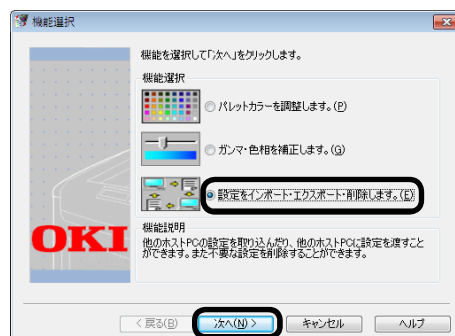
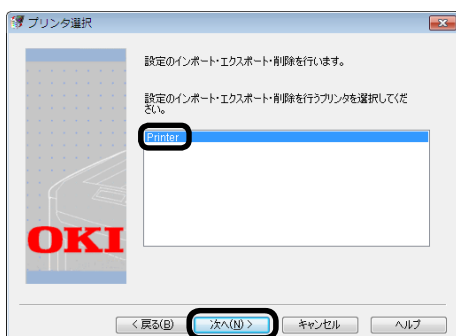
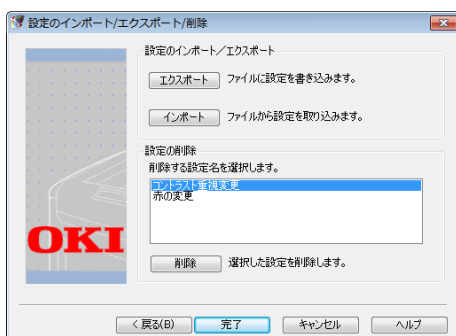
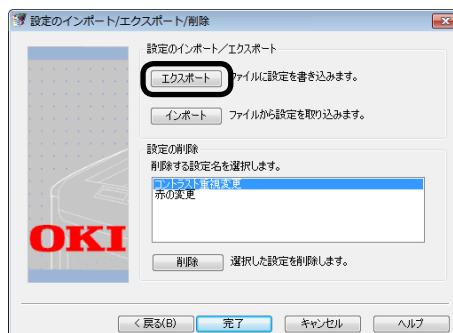
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

注

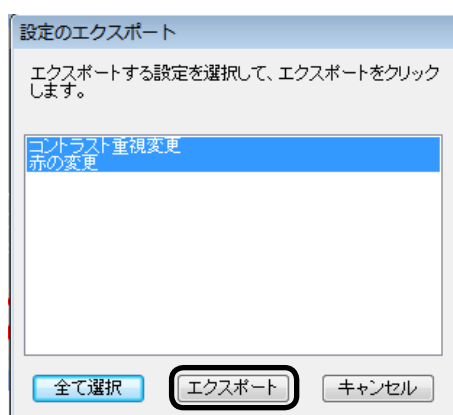
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- プリンタードライバーごとに設定を行ってください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。

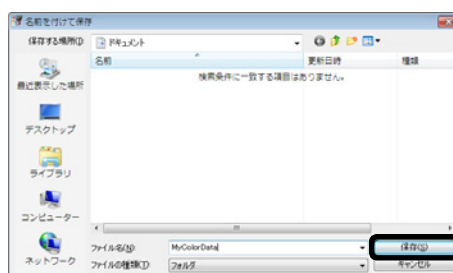
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

(1) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

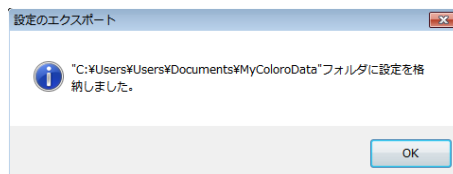
(2) ［設定をインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

(3) 設定を保存したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

(1) [エクスポート] をクリックします。

(2) 「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、[エクスポート] をクリックします。

メモ

- Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

(3) 保存場所を選択し、設定用のフォルダー名を入力して [保存] をクリックします。

(4) [OK] をクリックします。

(5) [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

カラー調整の設定を保存する（Macintosh）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

注

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

(1) カラー調整ユーティリティを起動します。

カラー調整ユーティリティ

(2) 対象装置を選択します。

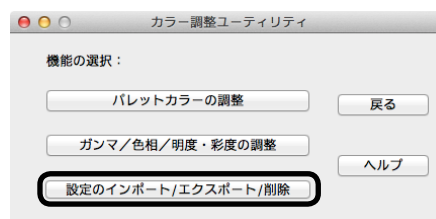
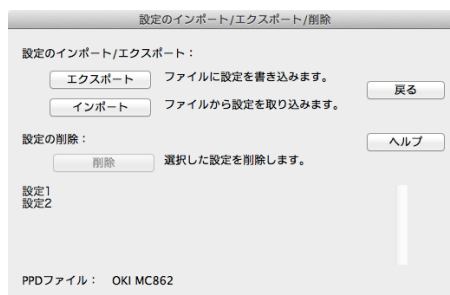
メモ

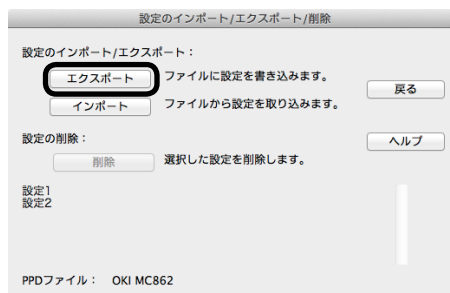
- 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

(3) ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

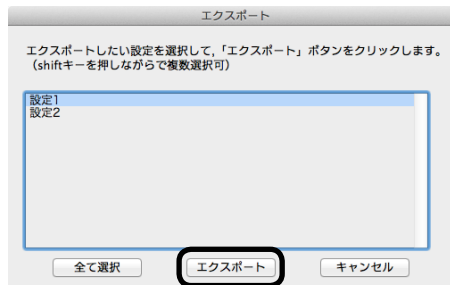
(4) ［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

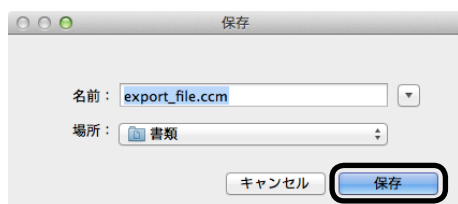
「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

メモ

- 画面左下部に (3) で選択した PPD ファイル名が表示されます。

2 設定を保存します。

(1) ［エクスポート］をクリックします。

(2) 「エクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ

- Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

(3) 保存場所を選択し、設定用のフォルダー名を入力して［保存］をクリックします。

(4) カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をインポートする（Windows）

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

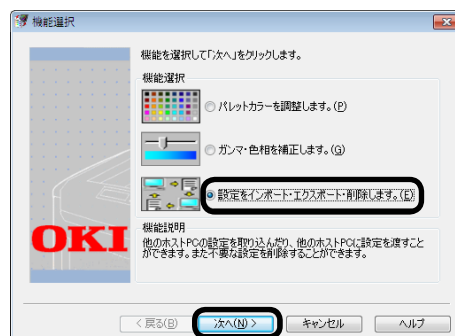
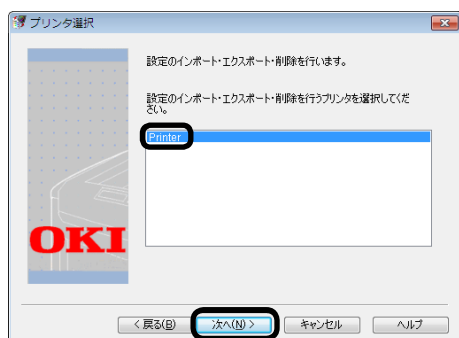
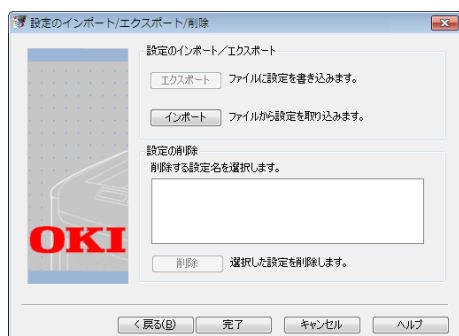
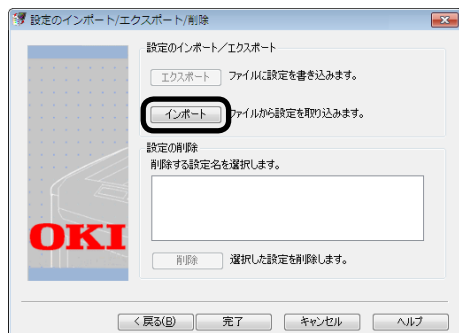
注

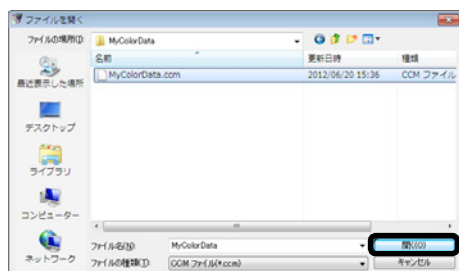
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- プリンタードライバーごとに設定を行ってください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。

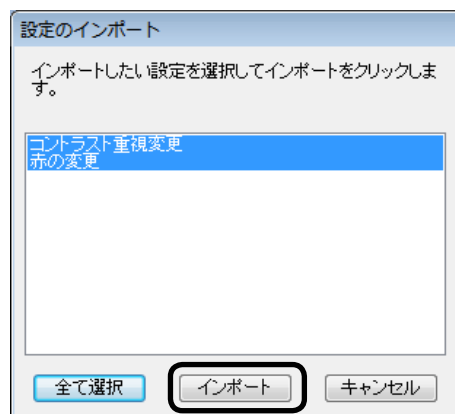
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

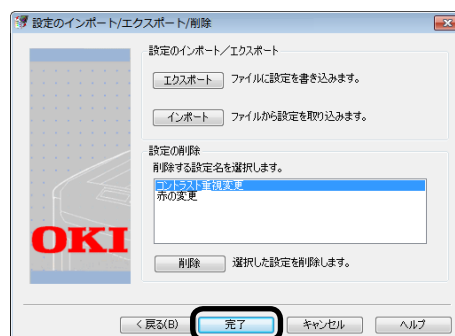
(1) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

(2) ［設定をインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

(3) 設定を読み込みたい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

2 設定を読み込みます。

(1) [インポート] をクリックします。

(2) 読み込みたい設定が保存されているフォルダー内の “.CCM” ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

(3) 「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。

メモ

- Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

(4) 設定が読み込めたことを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整の設定をインポートする（Macintosh）

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

注

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- プリンターの共有で接続されている装置では使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

(1) カラー調整ユーティリティーを起動します。

カラー調整ユーティリティ

(2) 対象装置を選択します。

メモ

- 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

(3) ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

(4) ［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

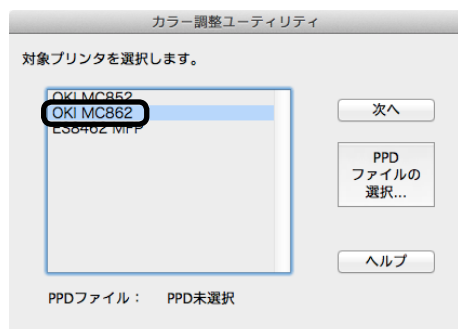
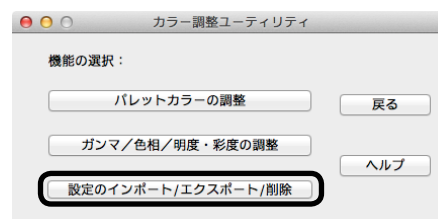
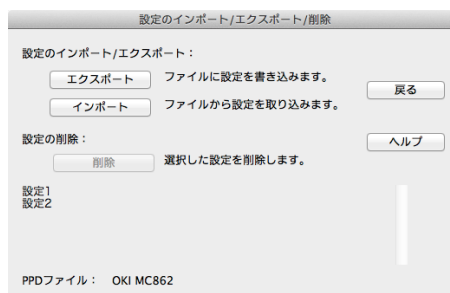
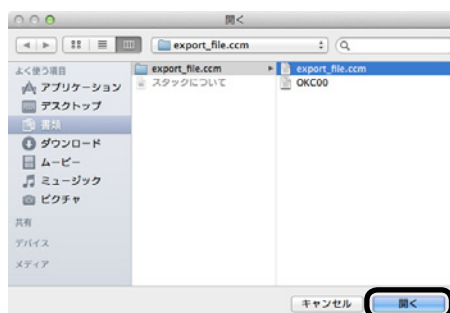
メモ

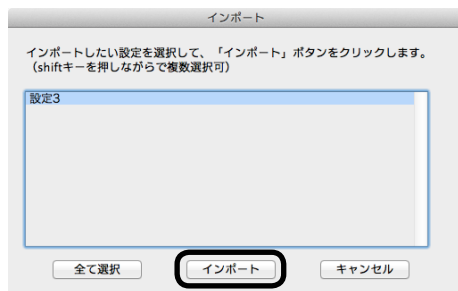
- 画面左下部に (3) で選択した PPD ファイル名が表示されます。

2 設定を読み込みます。

(1) ［インポート］をクリックします。

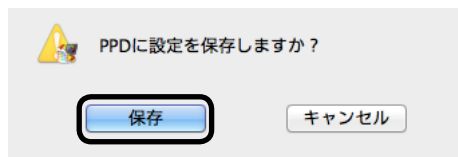
(2) 読み込みたい設定が保存されているフォルダー内の “.ccm” ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

1 本機で利用できるユーティリティ／ソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

(3) 「インポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。

メモ

- Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

(4) (3) で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、[保存] をクリックします。

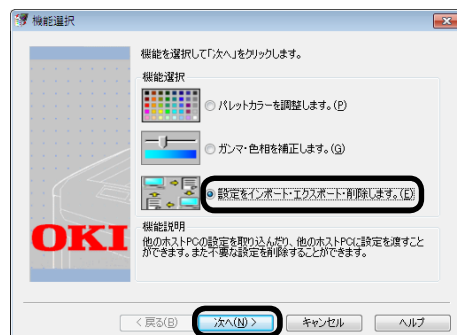
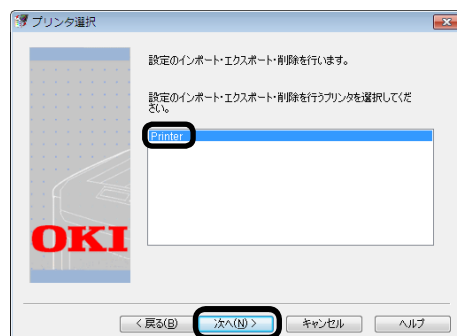
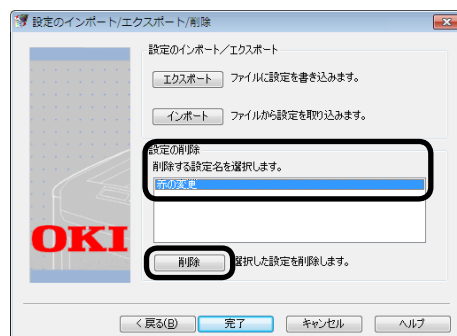
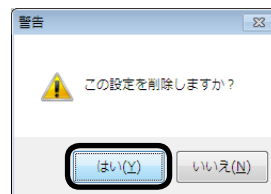
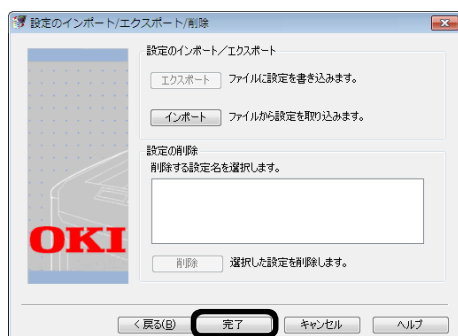
「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

[キャンセル] をクリックすると、設定はユーティリティーにも PPD ファイルにも保存されません。

(5) 「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が読み込めたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定を削除する（Windows）

不要になったカラー調整を削除できます。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 設定を削除したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

4 削除したい設定をリストから選択し、[削除] をクリックします。

5 [はい] をクリックし、設定を削除します。

6 設定が削除されたことを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整の設定を削除する（Macintosh）

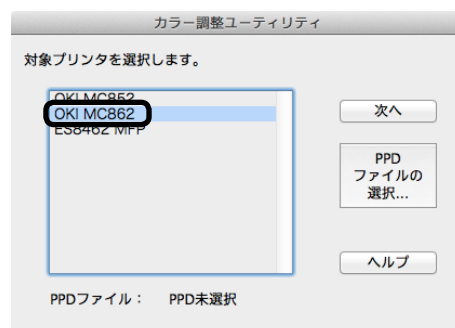
不要になったカラー調整を削除できます。

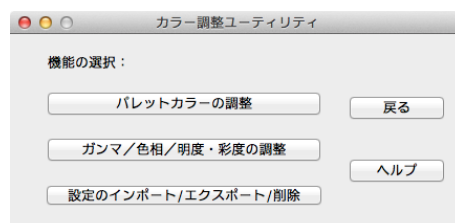
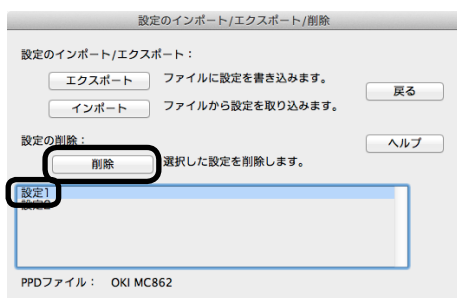
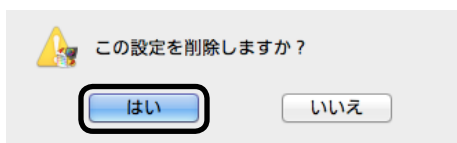
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

カラー調整ユーティリティ

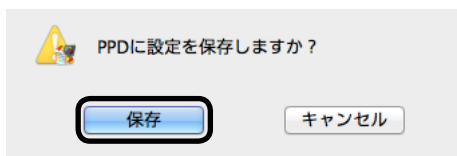
2 対象装置を選択します。

メモ

- 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

3 [PPD ファイルの選択] をクリックして PPD ファイルを選択します。

4 [設定のインポート / エクスポート / 削除] をクリックします。

5 削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

6 ［はい］をクリックし、設定を削除します。

7 3 で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティーにも PPD ファイルにも保存されません。

8 「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が削除されたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

本機の CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整することができます。

写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

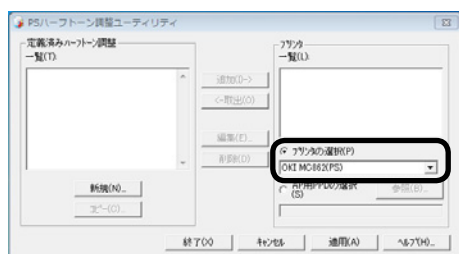
! 注

- Windows PCL プリンタードライバーでは利用できません。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティーをインストールする」(P.10) をご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタードライバーの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピューターを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［デバイスとプリンター］フォルダーに複数の同一機種プリンターが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンターに有効となります。

■Windows PS プリンタードライバーの場合

1 ハーフトーン調整名を登録します。

(1) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

(2) ［プリンタの選択］から装置を選択します。

! 注

- アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は［AP 用 PPD の選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

(3) ［新規］をクリックします。

(4) 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。

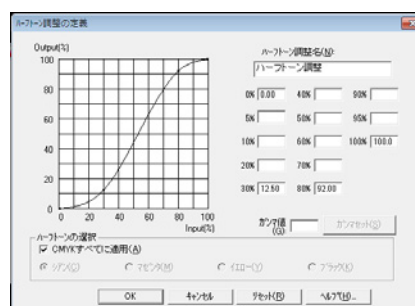
各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

a グラフ線を直接操作する。

線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

b ガンマ値を入力する。

ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

c 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。

赤を濃くする場合	シアンの値を上げます。
青を濃くする場合	イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合	マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合	シアンの値を下げます。
青を薄くする場合	イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合	マゼンタの値を下げます。

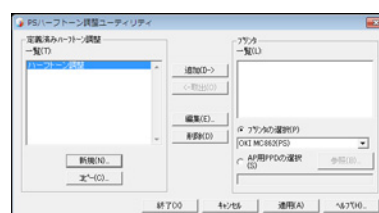
(5) ［追加→］をクリックします。

ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

(6) ［適用］をクリックします。

1 つの PPD ファイルに最大 6 つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

1 本機で利用できるユーティリティー・ソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

(7) PPD への登録完了画面で［OK］をクリックします。

(8)［終了］をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタードライバーでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2)［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3)［詳細設定］をクリックします。

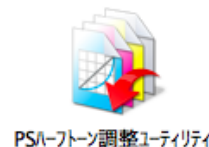
(4)［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順 1 の (4) で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーの場合

1 PS ハーフトーン調整ユーティリティを起動します。

参照

- 「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

2［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

3 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。

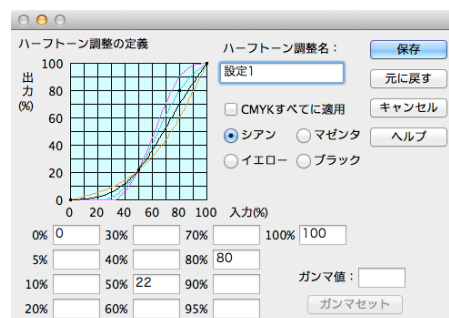
各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

a グラフ線を直接操作する。

線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

b ガンマ値を入力する。

ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

c 各濃度テキストボックスに値を入力する。

4 ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

5［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

6 ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザー名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

7 PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

8 ［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

9 印刷したいファイルを開きます。

10 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

11 ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順 3 で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の [詳細を表示] ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

3 Windowsユーティリティー

Configuration Tool

Configuration Tool は OKI デバイスの設定を変更したり管理するユーティリティーです。

Configuration Tool は複数の OKI デバイスを簡単に設定 / 管理するために以下の機能があります。

- デバイスの装置情報を表示する
- デバイスのメニューを設定する
- デバイスの設定を複製する
- デバイスのパスワードを変更する
- デバイスの E メールアドレスを登録 / 編集する
- デバイスの短縮ダイヤルを登録 / 編集する
- デバイスのプロファイルを登録 / 編集する
- デバイスのアクセス制御を設定する
- デバイスの自動配信を登録 / 編集する
- ICC プロファイルの登録と管理を行う
- フォームデータの登録と削除を行う
- 保存ジョブの管理を行う
- パーティションのフォーマット
- ハードディスクのパーティションサイズ変更
- フラッシュメモリーの初期化
- プリンターのネットワークの設定を行う

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2008/Windows Server 2003
日本語版が動作しているコンピューター

! 注

- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。
- Internet Explorer 5.5 SP1 以上がインストールされている必要があります。

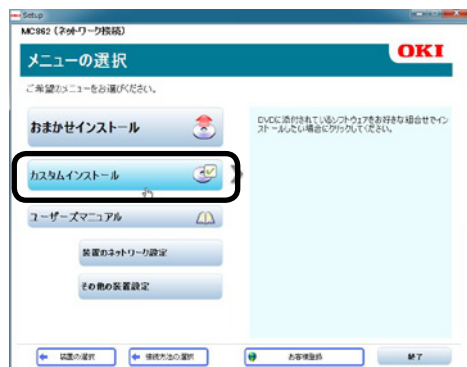
本項の説明は、全て Windows 7 を例にしています。

インストールする

1. 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。
2. [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。
3. [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。
4. 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。
5. 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 装置の接続方法を選択し、「次に進む」をクリックします。（本例ではネットワーク接続を選択します。）

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 「個別画面に切り替える。」をクリックし、「Configuration Tool」をクリックします。

10 インストールしたいプラグインを選択します。

● User Setting プラグイン

E メールアドレスや電話帳を登録・編集したりアクセス制御などを設定します。
インストールするとUser Settingタブが追加されます。詳しくは、「User Setting タブ」（P.43）を参照してください。

● Device Setting プラグイン

本機のメニューを設定したり、設定を別の OKI デバイスにクローニング（複製）します。インストールすると Device Setting タブが追加されます。詳しくは、「Device Setting タブ」（P.59）を参照してください。

● Alert Info プラグイン

ファクスを受信したり、印刷が完了したときなどに、それを知らせるメッセージをコンピューターに表示するを設定します。インストールすると Plug-in メニューに追加されます。詳しくは、「Alert Info プラグイン」（P.61）を参照してください。

● Network Setting プラグイン

IP アドレスの設定やプリンターを再起動したり、Web ページを表示します。インストールすると Plug-in メニューに追加されます。詳しくは、「Network Setting プラグイン」（P.64）をご覧ください。

● Storage Manager プラグイン

ICC プロファイルの登録、管理機能や、フォームデータの登録と削除機能や、保存ジョブの管理機能などあります。インストールすると Plug-in メニューに追加されます。詳しくは、「Storage Manager プラグイン」（P.65）をご覧ください。

メモ

● プラグインは、後で追加インストールすることもできます。

11 インストール先のフォルダーを指定します。

工場出荷時の設定では、C:¥Program Files¥Okidata¥Configuration Tool が指定されています。

12 [インストール] をクリックします。

13 「インストールが完了しました」が表示されたら、[閉じる] をクリックします。

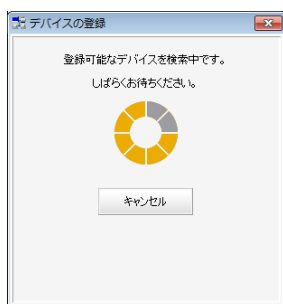
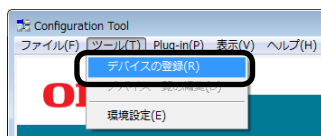
メモ

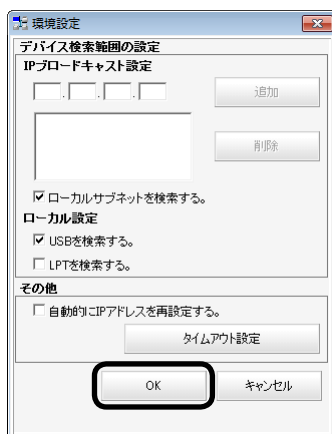
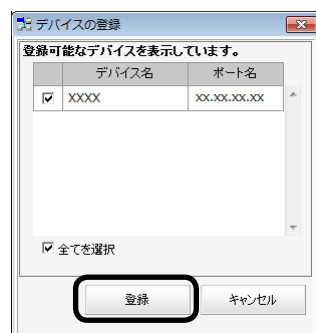
● 再起動画面が表示されたら、画面の指示に従いコンピューターを再起動してください。

デバイスを登録する

初めて Configuration Tool を使用したり、OKI デバイスを新しく導入するときは、OKI デバイスを Configuration Tool に登録します。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [Configuration Tool] - [Configuration Tool] を選択します。

2 「ツール」メニューの「デバイスの登録」を選択し、登録可能な OKI デバイスを検索します。

メモ

- 検索する範囲を変更するには、「ツール」メニューの「環境設定」を選択し、検索したい範囲を入力します。範囲を入力したら [OK] をクリックします。

3 設定や管理をしたい OKI デバイスにチェックをつけ、[登録] をクリックします。

4 ウインドウ右上の ☒ または [キャンセル] をクリックして、「デバイスの登録」画面を閉じます。

Device Info タブ

OKI デバイスのステータスや詳細情報を見ることができます。

この機能は、Configuration Tool に標準で用意されています。

1 「登録デバイス一覧」から情報を見たい OKI デバイスをクリックします。

OKI デバイスの状態が表示されます。

メモ

- 情報を更新するには、[デバイスステータスの更新] をクリックします。

注

- デバイスステータスは、OKI デバイスがネットワークに接続されている場合に表示されます。

User Setting タブ

User Setting プラグインをインストールした場合に表示されます。

本機に E メールアドレスや短縮ダイヤルを登録・編集したり、PIN などを設定することができます。

注

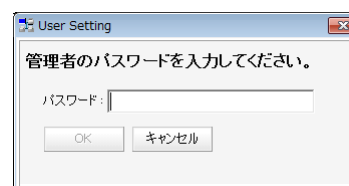
- 本機へ登録している項目数が多いマネージャーは、表示に時間が掛かる場合があります。
- 各マネージャーを使用する前に［アドレス情報ロックタイムアウト］の設定を変更する事を推奨します。
  この時間を過ぎてしまうと本機に反映ができません。
  各マネージャーの使用後は、元の設定値に戻してください。
  ［アドレス情報ロックタイムアウト］は 1 分から 10 分の間で指定できます。

各マネージャーの実行には本機の管理者のパスワードが必要です。

「管理者のパスワードを入力してください」と表示されたら、本機の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

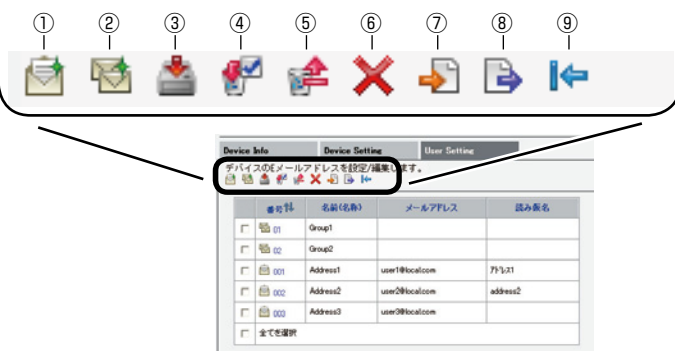
注

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。
  コンピューターの管理者のパスワードではありません。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

E メールアドレスを設定する

本機の E メールアドレスを登録・編集します。

注

- E メールアドレスマネージャー実行中は、他の Configuration Tool の E メールアドレスマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- E メールアドレスマネージャー実行中は、本機の操作パネルから E メールアドレスの登録・編集はできません。
- E メールアドレスマネージャー実行中は、本機の Web ブラウザーから自動配信設定の登録・編集はできません。
- 本機の操作パネルから E メールアドレスの登録･編集中は、E メールアドレスマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 本機の Web ブラウザーから自動配信設定の登録･編集中は､E メールアドレスマネージャーは読み取り専用で表示されます。
- E メールアドレスマネージャーの実行後、本機への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、本機へ書き込みできなくなります。
  その場合は一度ファイルへエクスポートし、E メールアドレスマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成 (E メールアドレス)	E メールアドレスの新規作成を行います。	44 ページ
②		新規作成 (グループ)	E メールアドレスグループの新規作成を行います。	45 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	―
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	45 ページ
⑤		削除して繰り上げ	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除した後、現在の項目に割り当てられている短縮番号を繰り上げます。	45 ページ
⑥		全て削除	全ての E メールアドレス、グループを削除します。	45 ページ
⑦		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	46 ページ
⑧		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	46 ページ
⑨		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	―

■E メールアドレスを本機に登録する

1 ［新規作成（E メールアドレス)］アイコンをクリックします。

2 ｢名前｣｢メールアドレス｣｢読み仮名｣を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- 既に登録されている E メールアドレスに関連付けられている番号を使用する場合は、その番号以降の番号が繰り下がります。
  この時本機へ現在の内容を保存する必要があります。
- ［読み仮名］は、半角英数字及び半角カタカナのみ 8 文字まで登録可能です。

3 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■登録した E メールアドレスを編集する

1 編集したい E メールアドレスの番号をクリックします。

2 ｢名前｣｢メールアドレス｣｢読み仮名｣を編集し、［OK］をクリックします。

3 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ グループを登録する

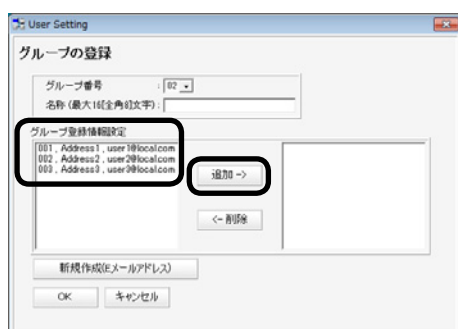
複数の宛先に E メールを送信したい場合、グループを登録しておくと一度の操作で送信できます。

1 ［新規作成（グループ）］アイコンをクリックします。

2 グループの名称を入力します。

3 グループに入れる E メールアドレスを選択し、［追加］をクリックします。

メモ

- グループに入れたい E メールアドレスが登録されていない場合は、［新規作成（E メールアドレス）］をクリックして、E メールアドレスを登録します。

注

- グループに登録する E メールアドレスには、［@］記号が含まれている必要があります。

4 ［OK］をクリックします。

■ グループを編集する

1 編集したいグループの番号をクリックします。

2 登録内容を編集し、［OK］をクリックします。

メモ

- 読み取り専用になっていて、編集できない場合は、グループに登録されている E メールアドレスの確認のみできます。

■ E メールアドレスやグループを削除する

1 削除したい E メールアドレスやグループを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

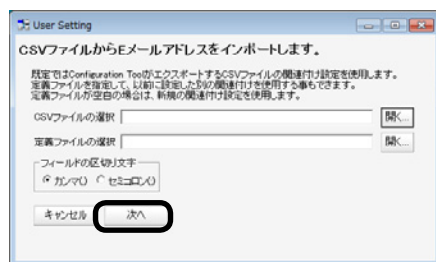
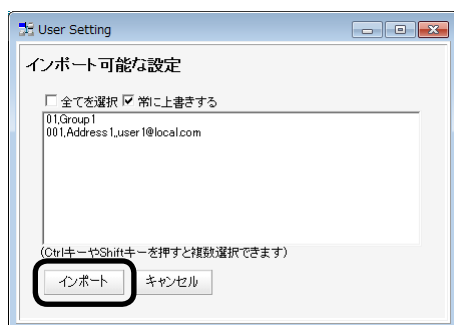
メモ

- ［削除して繰り上げ］アイコンをクリックすると、E メールアドレスやグループを削除して番号を 1 つ繰り上げます。この時本機へ現在の内容を保存する必要があります。
  ［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての E メールアドレスとグループを削除します。

2 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ファイルから E メールアドレスを読み込む

ファイルへ書き出した E メールアドレスを復元できます。

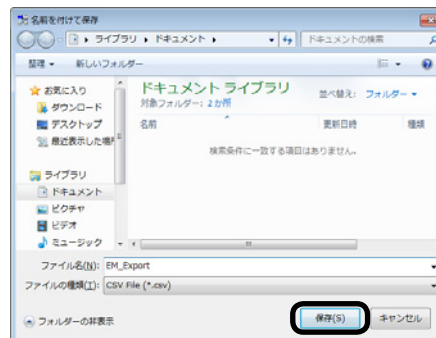
1. ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。
2. [CSV ファイルの選択] から [開く] をクリックします。
3. インポートしたいファイルを選択し、[開く] をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。

5. 画面からインポートする E メールアドレスやグループを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。）

6. ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

メモ

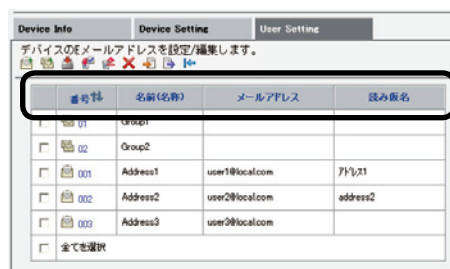
- Outlook Express（Windows メール、Windows Live メール）がエクスポートした CSV ファイルについても、復元可能です。

■E メールアドレスをファイルへ書き出す

1. ［ファイルへエクスポート］アイコンをクリックします。
2. ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、［保存］をクリックします。

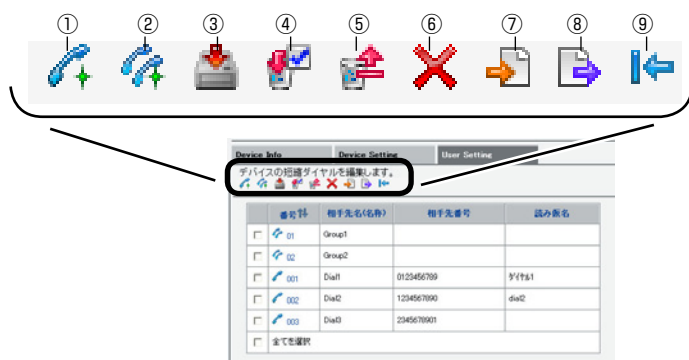
注

- ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、E メールアドレスマネージャーで正常に復元できない場合があります。

■E メールアドレスの表示順を変更する

番号、名前（名称）、メールアドレス、読み仮名 それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に E メールアドレスを並び替えます。

短縮ダイヤルを設定する

本機の短縮ダイヤルを登録・編集します。

注

- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、他の Configuration Tool の短縮ダイヤルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、本機の操作パネルから短縮ダイヤルの登録・編集はできません。
- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、本機の Web ブラウザーから自動配信設定の登録・編集はできません。
- 本機の操作パネルから短縮ダイヤルの登録・編集中は、短縮ダイヤルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 本機の Web ブラウザーから自動配信設定の登録・編集中は、短縮ダイヤルマネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 短縮ダイヤルマネージャーの実行後、本機への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、本機へ書き込みできなくなります。
その場合は一度ファイルへエクスポートし、短縮ダイヤルマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成（短縮ダイヤル）	短縮ダイヤルの新規作成を行います。	47 ページ
②		新規作成（グループ）	短縮ダイヤルグループの新規作成を行います。	48 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	–
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	48 ページ
⑤		削除して繰り上げ	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除した後、現在の項目に割り当てられている短縮番号を繰り上げます。	48 ページ
⑥		全て削除	全ての短縮ダイヤル、グループを削除します。	48 ページ
⑦		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	49 ページ
⑧		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	49 ページ
⑨		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	–

■短縮ダイヤルを本機に登録する

1 ［新規作成（短縮ダイヤル)］アイコンをクリックします。

2 「相手先名」「相手先番号」「読み仮名」を入力し、［OK］をクリックします。

注

- 相手先番号は、市外局番、局番、番号の間にハイフンをいれず、続けて入力します。
- ダイヤル記号は、直接キーボードから入力する必要があります。

メモ

- 既に登録されている短縮ダイヤルに関連付けられている番号を使用する場合は、その番号以降の番号が繰り下がります。
この時本機へ現在の内容を保存する必要があります。
- 読み仮名は、半角英数字及び半角カタカナのみ 8 文字まで登録可能です。

■登録した短縮ダイヤルを編集する

1 編集したい短縮ダイヤルの番号をクリックします。

2 「相手先名」「相手先番号」「読み仮名」を編集し、［OK］をクリックします。

3 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■グループを登録する

複数の宛先にファクスを送信したい場合、グループを登録しておくと一度の操作で送信できます。

1 ［新規作成（グループ）］アイコンをクリックします。

2 グループの名称を入力します。

3 グループに入れる短縮ダイヤルを選択し、［追加］をクリックします。

メモ

- グループに入れたい短縮ダイヤルが登録されていない場合は、［新規作成（短縮ダイヤル）］をクリックして、短縮ダイヤルを登録します。

4 ［OK］をクリックします。

■グループを編集する

1 編集したいグループの番号をクリックします。

2 登録内容を編集し、［OK］をクリックします。

メモ

- 読み取り専用になっていて、編集できない場合は、グループに登録されている短縮ダイヤルの確認のみできます。

■短縮ダイヤルやグループを削除する

1 削除したい短縮ダイヤルやグループを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

メモ

- ［削除して繰り上げ］アイコンをクリックすると、短縮ダイヤルやグループを削除して番号を１つ繰り上げます。この時本機へ現在の内容を保存する必要があります。
  ［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての短縮ダイヤルとグループを削除します。

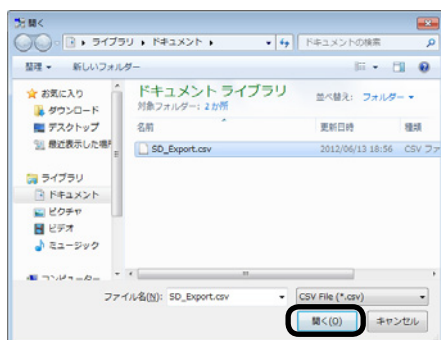
2 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

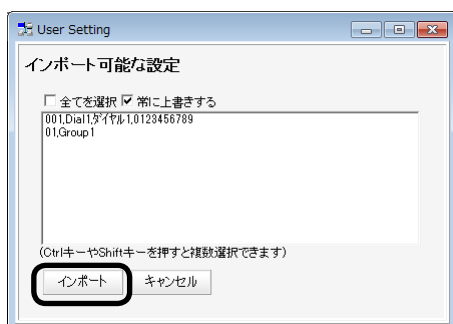
■ファイルから短縮ダイヤルを読み込む

ファイルへ書き出した短縮ダイヤルを復元できます。

1 [ファイルからインポート] アイコンをクリックします。

2 [CSV ファイルの選択] から [開く] をクリックします。

3 インポートしたいファイルを選択し、[開く] をクリックします。

4 [次へ] をクリックします。

5 画面からインポートする短縮ダイヤルやグループを選択して、[インポート] をクリックします。(Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます)

6 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

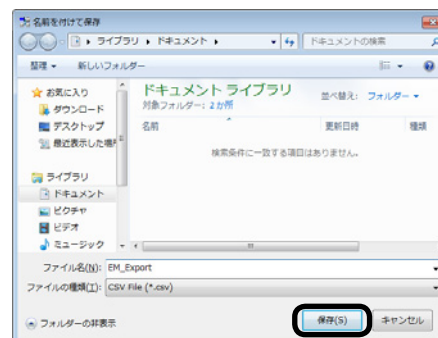
メモ

- ファクスドライバーからエクスポートした CSV ファイルを読み込む事も可能です。
  本機に接続された短縮ダイヤルマネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。

■短縮ダイヤルをファイルへ書き出す

1 [ファイルへエクスポート] アイコンをクリックします。

2 ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、[保存] をクリックします。

注

- ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、短縮ダイヤルマネージャーで正常に復元できない場合があります。

■短縮ダイヤルの表示順を変更する

番号、相手先名（名称）、相手先番号、読み仮名の欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に短縮ダイヤルを並び替えます。

プロファイルを設定する

本機のプロファイルを登録・編集します。

! 注

- プロファイルマネージャー実行中は、他の Configuration Tool のプロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- プロファイルマネージャー実行中は、本機の操作パネルからプロファイルの登録・編集はできません。
- プロファイルマネージャー実行中は、本機の Web ブラウザーからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集はできません。
- 本機の操作パネルからプロファイルの登録・編集中は、プロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 本機の Web ブラウザーからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集中は、プロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- プロファイルマネージャーの実行後、本機への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、本機へ書き込みできなくなります。
その場合は一度ファイルへエクスポートし、プロファイルマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成	プロファイルの新規作成を行います。	50 ページ
②		コピーして新規作成	チェックボックスにチェックが入っている項目の内容をコピーして、プロファイルの新規作成を行います。	50 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	–
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	52 ページ
⑤		全て削除	全てのプロファイルを削除します。	52 ページ
⑥		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	52 ページ
⑦		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	52 ページ
⑧		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	–

メモ

- ［コピーして新規作成］アイコンは、チェックが入っている項目が一つの場合のみ使用できます。

■ プロファイルを本機に登録する

1 ［新規作成］アイコン、または ［コピーして新規作成］アイコンをクリックします。

2 「プロファイル名」「プロトコル」などを入力し、［OK］をクリックします。

- プロファイル名：プロファイルの名前を入力します。
- プロトコル：プロファイルのプロトコルを選択します。
- ポート番号：プロトコルで使用するポート番号を入力します。［プロトコル］と［通信の暗号化］の設定により自動的に切り替わります。
- 通信の暗号化：プロトコルに暗号化を使用するかを選択します。
- CIFS 文字セット：プロトコルで使用する文字セットを選択します。
- ホスト側漢字コード：［対象 URL］に日本語を入力した時の文字コードの種類を選択します。
- 対象 URL: 保存先のサーバ名とディレクトリ名をパスの形式で入力します。
- ファイル名：保存するファイル名を入力します。
- ユーザ名：サーバにアクセスするユーザ名を入力します。
- パスワード：サーバにアクセスするユーザのパスワードを入力します。

メモ

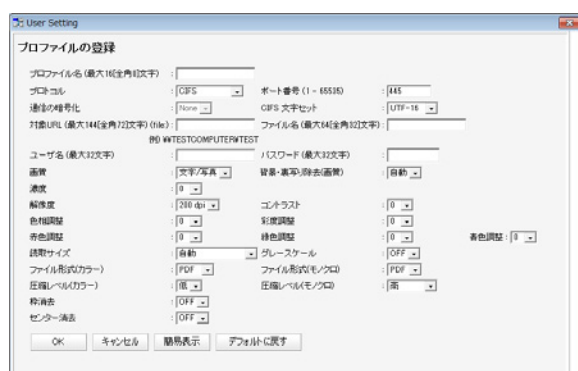
- ［コピーして新規作成］アイコンからの新規作成時には、［プロファイル名］、［ユーザ名］、［パスワード］以外は予め入力、選択されています。
- プロファイルでは「ファイル名」欄に #n や #d を指定することができます。
#n を指定した場合：00000 ～ 99999 の 5 桁の連番
#d を指定した場合：ファイル作成日時　yymmddhhmmss の 12 桁の数字
yy：作成した年（西暦の下 2 桁）hh　：作成した時（00 ～ 23）
mm：作成した月（01 ～ 12）mm：作成した分（00 ～ 59）
dd：作成した日（01 ～ 31）ss　：作成した秒（00 ～ 59）
* ファイル作成日時は本機のタイマーの値となります。
- ファイル名の指定例（ファイル形式が PDF の場合）

- Data#n と指定した場合
Data00000.pdf、Data00001.pdf などのファイル名で保存されます。
- File#d と指定した場合
File090715185045.pdf などのファイル名で保存されます。

- Scan と指定した場合
  最初は Scan.pdf が作成され、その後は Scan#d.pdf という形式のファイル名で保存されます。#d は上記を参照してください。
- 無指定の場合
  最初は Image.pdf が作成され、その後は Image#d.pdf という形式のファイル名で保存されます。#d は上記を参照してください。

注

- プロファイルに登録されているファイル名は、スキャン To CIFS/FTP/HTTP を実行する時に適用されます。これらのファイル名が指定されたプロファイルを使用して自動配信を行った場合には、上記のファイル名称は適用されません。
  自動配信時のファイル名称は yymmddhhmmss_xxxxxxxx.pdf という固定の形式になります。
  yymmddhhmmss の部分は上記の #d のファイル作成日時で、_xxxxxxxx の部分は他のファイル名と重複しないように 8 桁の英数字（無意味な値）を付加しています。

3 より詳細な設定をするときは、［詳細表示］をクリックし、必要に応じて、各項目を設定します。

- 画質 : 画質を選択します。
- 背景・裏写り除去 (画質): 画質の背景除去を選択します。
- 濃度 : 濃度を選択します。
- 解像度 : 解像度を選択します。
- コントラスト : コントラストを選択します。
- 色相調整 : 色相調整を選択します。
- 彩度調整 : 彩度調整を選択します。
- 赤色調整 : 赤色調整を選択します。
- 緑色調整 : 緑色調整を選択します。
- 青色調整 : 青色調整を選択します。
- 読取サイズ : 読取サイズを選択します。
- グレースケール : グレースケールを使用するか選択します。
  ON に変更すると［ファイル形式］と［圧縮レベル］で、グレースケールが選択可能になります。
- ファイル形式 (カラー): カラー時のファイル形式を選択します。
- ファイル形式 (モノクロ): モノクロ時のファイル形式を選択します。
  ［グレースケール］の設定によりグレースケールとモノクロのどちらかが表示されます。
- 圧縮レベル (カラー): カラー時の圧縮レベルを選択します。

メモ

- ファイル形式（カラー）で TIFF が選択された場合、圧縮レベル（カラー）は表示されなくなり変更できなくなります。

- 圧縮レベル (モノクロ): モノクロ時の圧縮レベルを選択します。
  ［グレースケール］の設定によりグレースケールとモノクロのどちらかが表示されます。

メモ

- ファイル形式（グレースケール）で TIFF が選択された場合、圧縮レベル（グレースケール）は表示されなくなり変更できなくなります。

- 枠消去 : 枠消去を使用するか選択します。OFF の場合は［消し幅 (枠消去)］は表示されません。
- 消し幅 (枠消去): 枠消去の消し幅を入力します。
- センター消去 : センター消去を使用するか選択します。OFF の場合は［消し幅 (センター消去)］は表示されません。
- 消し幅 (センター消去): センター消去の消し幅を入力します。
- 簡易表示 : 簡易表示画面に切り換えます。
- デフォルトに戻す : 設定値を初期状態に戻します。

4 ［OK］をクリックします。

5 ［デバイスへ保存］をクリックします。

■ プロファイルを編集する

登録されたプロファイルを編集します。

1 編集したいプロファイルのプロファイル名をクリックします。

2 「プロファイルの編集」画面で、編集します。

設定できる内容は、「プロファイルを本機に登録する」の手順 2 をご覧ください。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ プロファイルを削除する

1 削除したいプロファイルを選択し、[削除] アイコンをクリックします。

メモ

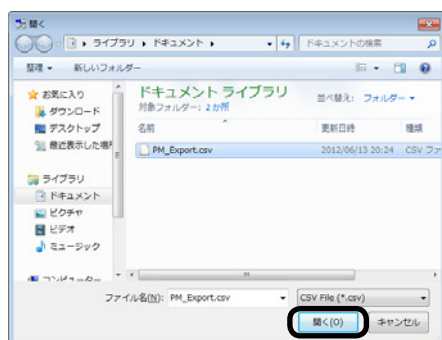
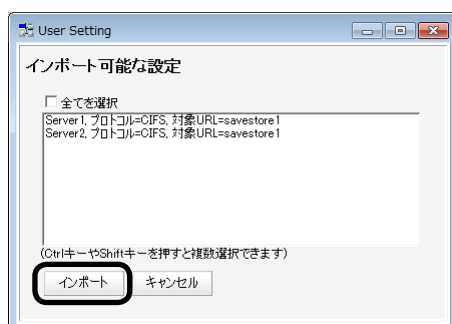
- [全て削除] アイコンをクリックすると、全てのプロファイルを削除します。

2 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

■ ファイルからプロファイルを読み込む

ファイルへ書き出したプロファイルを復元できます。

1 [ファイルからインポート] アイコンをクリックします。

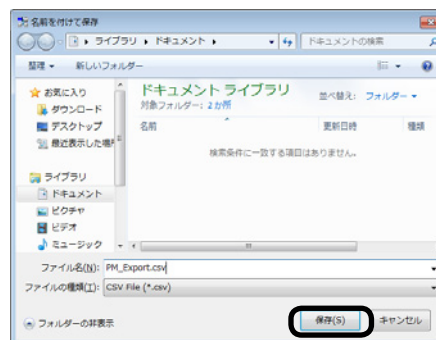
2 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

3 画面からインポートするプロファイルを選択して、[インポート] をクリックします。(Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。)

4 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

メモ

- 本機に接続されたプロファイルマネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。

■ プロファイルをファイルへ書き出す

1 [ファイルへエクスポート] アイコンをクリックします。

2 ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、[保存] をクリックします。

注

- パスワード情報はファイルに保存されません。
- ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、プロファイルマネージャーで正常に復元できない可能性があります。

■ プロファイルの表示順を変更する

プロファイル名、プロトコル、対象 URL それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基にプロファイルを並び替えます。

PIN を設定する

本機のアクセス制御を設定することができます。

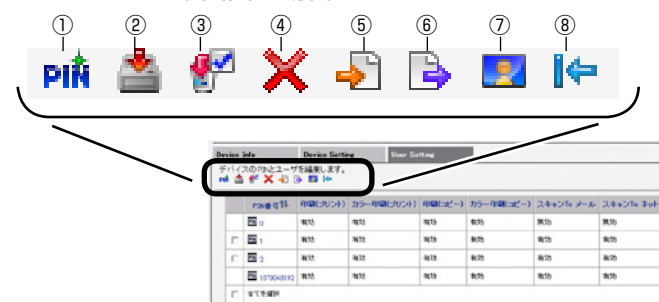
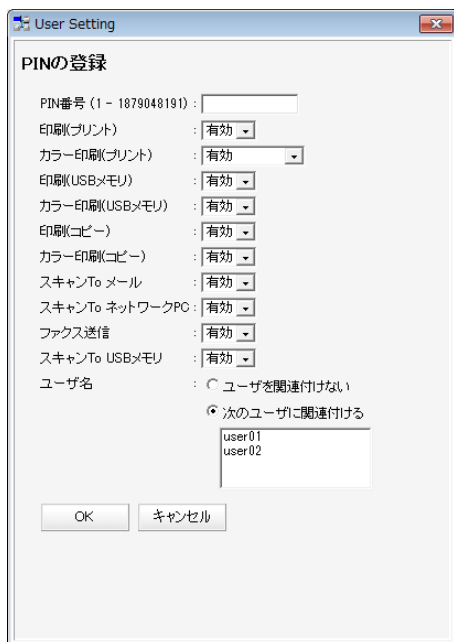
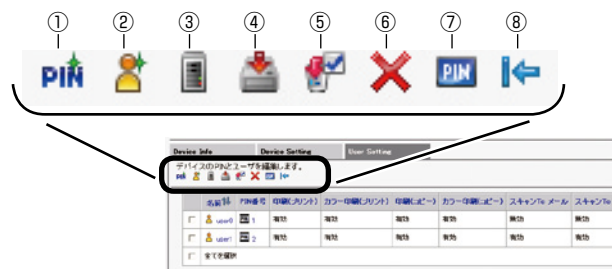
アクセス可能なユーザーを認証するには、本機にユーザ情報を持たせる方法と、LDAP サーバーを利用する方法、セキュアプロトコルサーバーを利用する方法があります。

! 注

- PIN マネージャーの実行後、Web ブラウザーや他のユーティリティーで設定が変更されている場合は、本機へ書き込みはできません。
  その場合は一度ファイルへエクスポートし、PIN マネージャーの再実行後にインポートすることで編集内容を復旧できます。
  ただし、復旧できるのは PIN のみです。

■アクセス制御を設定する

1 ［PIN マネージャー］を選択します。

● PIN 基準画面の場合

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成 (PIN)	PIN の新規作成を行います。	54 ページ
②		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	－
③		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	54 ページ
④		全て削除	全ての PIN を削除します。	54 ページ
⑤		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	55 ページ
⑥		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	54 ページ
⑦		ユーザーを基準で表示	ユーザーを基準とした画面表示に切り替えます。ユーザーが基準の画面表示時は表示されません。	－
⑧		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	－

● ユーザー基準画面の場合

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成 (PIN)	PIN の新規作成を行います。	54 ページ
②		新規作成 (ユーザー)	PIN と関連付けるユーザーの新規作成を行います。PIN が基準の画面表示時は表示されません。	55 ページ
③		LDAP サーバーの編集	PIN と関連付けるユーザーの名前を参照する LDAP サーバーを編集します。 PIN が基準の画面表示時は表示されません。	56 ページ
④		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	－
⑤		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	56 ページ
⑥		全て削除	全てのユーザーを削除します。	56 ページ
⑦		PIN を基準で表示	PIN を基準とした画面表示に切り替えます。PIN が基準の画面表示時は表示されません。	－
⑧		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	－
		ユーザーの編集	「ユーザ編集画面」を表示します。	－

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

■PIN を新規作成する

1 「新規作成 (PIN)」アイコンをクリックします。

2 PIN 番号に作成したい番号を入力します。

メモ

- 既に登録されている PIN 番号は変更できません。

3 各値を設定・変更し、必要であれば関連付けるユーザーを選択し、[OK] をクリックします。

4 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

メモ

- 一覧画面で作成した PIN 番号をクリックすると、PIN の設定を変更することができます。

■PIN を削除する

1 削除したい PIN を選択し、[削除] アイコンをクリックします。

メモ

- [全て削除] アイコンをクリックすると、全ての PIN を削除します。

2 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

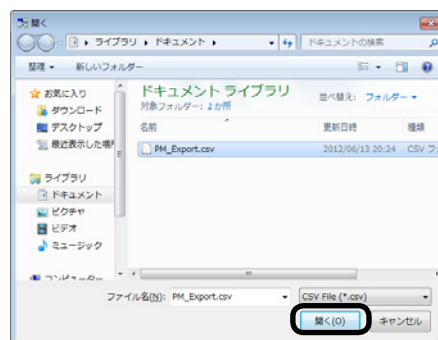
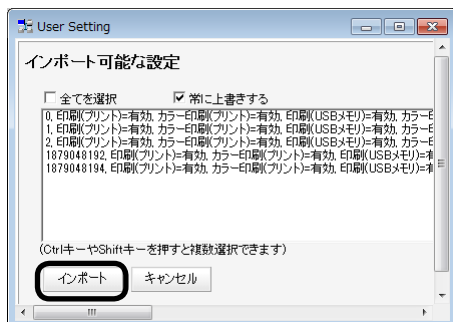
注

- 以下の PIN 番号は予約 PIN のため、削除できません。
  0 : 未登録の番号を意味します。
  1879048192 : 設定印刷を意味します。

■ファイルから PIN を読み込む

ファイルへ書き出した PIN を復元できます。

1 [ファイルからインポート] アイコンをクリックします。

2 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

3 画面からインポートする PIN を選択して、[インポート] をクリックします。(Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。)

4 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

メモ

- C3530MFP MFP セットアップツールの CSV ファイルはサポートされますが、[スキャン To USB メモリ] の設定値はデフォルトで無効になります。

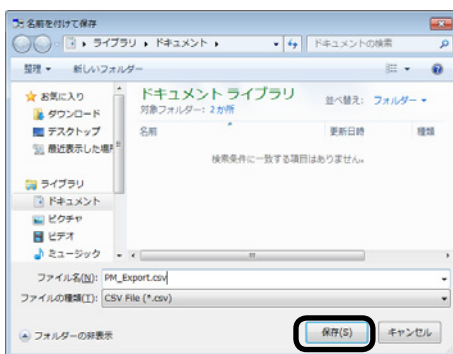
注

- ユーザー及びユーザーの関連付けは読み込めません。

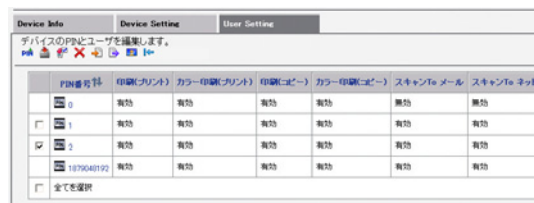
■PIN をファイルへ書き出す

1 [ファイルへエクスポート] アイコンをクリックします。

2 ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、[保存] をクリックします。

注

- ユーザー及びユーザーの関連付けは書き出せません。
- ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、PIN マネージャーで正常に復元できない可能性があります。

■PIN の表示順を変更する

PIN 番号、印刷 (プリント)、カラー印刷 (プリント)、印刷 (コピー)、カラー印刷 (コピー)、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、ファクス送信、スキャン To USB メモリそれぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に PIN を並び替えます。

■ユーザーを作成する

1 「新規作成 (ユーザー)」アイコンをクリックします。

2 ユーザー名、パスワードを入力します。

注

- 以下のユーザー名は予約ユーザーのため、登録できません。
  Admin : 管理者のユーザー名を意味します。

メモ

- [パスワード] 及び [パスワードの再入力] は、本機の [ユーザ認証方法] がローカルの場合のみ必要になります。
  LDAP 及びセキュアプロトコルの場合は表示されません。

3 [新しい PIN 番号] に PIN 番号を入力します。

メモ

- あらかじめ作成した PIN 番号を割り当てることもできます。

4 各値を設定し、[OK] をクリックします。

5 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

メモ

- 一覧画面で作成したユーザー名をクリックすると、ユーザーの設定を変更することができます。

■ユーザーを削除する

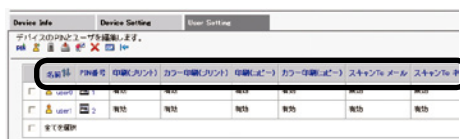
1 削除したいユーザーを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

メモ

- ［全て削除］アイコンをクリックすると、全てのユーザーを削除します。

2 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ユーザーの表示順を変更する

名前、PIN 番号、印刷 (プリント)、カラー印刷 (プリント)、印刷 (コピー)、カラー印刷 (コピー)、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、ファクス送信 、スキャン To USB メモリそれぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基にユーザーを並び替えます。

■LDAP サーバーを設定する

ユーザーを作成・編集する時に、ユーザー名の一覧を取得する LDAP サーバーを設定します。

注

- この設定を変更しても、本機の［LDAP サーバ設定］には影響しません。

1 ［LDAP サーバーの編集］アイコンをクリックします。

2 使用する LDAP サーバーの種類、サーバー名、ポート番号、ベース DN、パスワード、ユーザー名とする属性を入力し、［OK］をクリックします。

注

- サーバの種類によって、表示される画面と入力する項目が異なる場合があります。
  ［ユーザ名とする属性］を［直接入力］と選択した場合、［ユーザ名とする属性］の選択欄の下段の空白の欄に属性名を入力する必要があります。

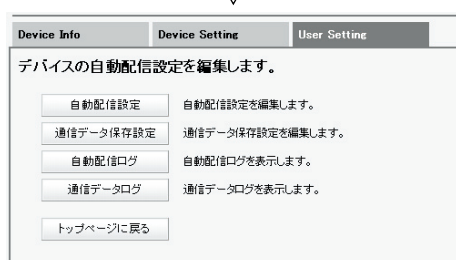
メモ

- 必要に応じて、オプションをチェックします。
  本機で利用している LDAP サーバーの設定を利用する場合は、［デバイスから設定を取得］をクリックします。
- 入力が終わったら、［テスト］ボタンをクリックして LDAP サーバーに正常にアクセスできるか確認できます。

自動配信を設定する

受信したファクスを自動的に E メールに変換して送信したり、本機が受信した E メールを自動的に配信できます。

! 注

- 自動配信マネージャー実行中は、他の Configuration Tool の E メールアドレスマネージャー、短縮ダイヤルマネージャー、プロファイルマネージャー、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 自動配信マネージャー実行中は、本機の操作パネルから E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイルの登録･編集はできません。
- 自動配信マネージャー実行中は、本機の Web ブラウザーからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集はできません。
- 本機の操作パネルから E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイルの登録・編集中は、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 本機の Web ブラウザーからプロファイル､自動配信設定､通信データ保存設定の登録・編集中は、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 自動配信マネージャーの実行後、本機への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、本機へ書き込みできなくなります。
  その場合は［アドレス情報ロックタイムアウト］を変更することを推奨します。

■ 自動配信設定をする

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成	自動配信設定の新規作成を行います。	58 ページ
②		コピーして新規作成	チェックボックスにチェックが入っている項目の内容をコピーして、自動配信設定の新規作成を行います。	58 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	−
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	58 ページ
⑤		全て削除	全ての自動配信設定を削除します。	58 ページ
⑥		前に戻る	自動配信の機能選択ページに戻ります。	−

メモ

- ［コピーして新規作成］アイコンは、チェックが入っている項目が一つの場合のみ使用できます。

1 ［新規作成］アイコン、または ［コピーして新規作成］アイコンをクリックします。

2 ［自動配信設定の登録ウィザード］が起動するので、画面に従って各項目を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- ［配信先］の［フォルダ配信］は、空白の項目を選択すると設定が解除されます。
  ［コピーして新規作成］アイコンからの新規作成する時には、［配信設定名］以外は予め入力、選択されています。

3 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

特定の E メールやファクスのみを自動配信したい場合は、［受信 Email］又は［受信 FAX］にチェックを付け、［絞り込み条件設定］をクリックして、条件を入力します。

■ 自動配信設定を削除する

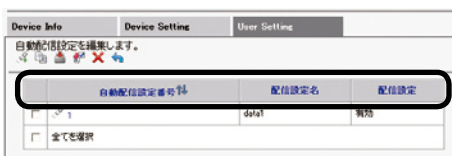
1 削除したい自動配信設定を選択し、［削除］アイコンをクリックします。

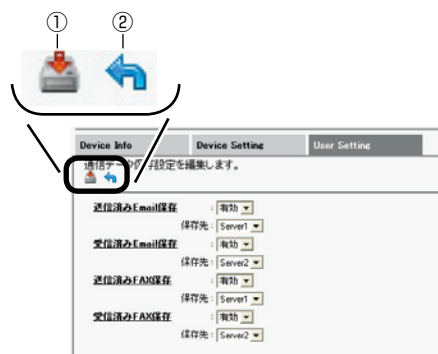
メモ

- ［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての自動配信設定を削除します。

2 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

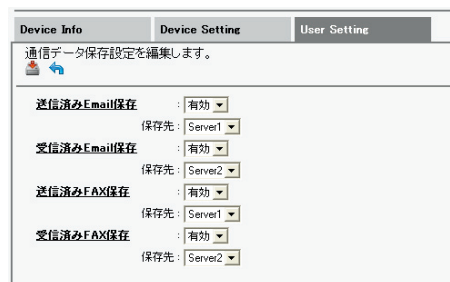
■ 自動配信設定の表示順を変更する

自動配信設定番号、配信設定名、配信設定それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に自動配信設定を並び替えます。

■ 通信データ保存設定をする

通信したデータをサーバーなどに保存して置きたい場合に設定します。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	–
②		前に戻る	自動配信の機能選択ページに戻ります。	–

1 ［通信データ保存設定］をクリックします。

2 保存したい項目を［有効］にします。

3 保存先のプロファイルを選択します。

4 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ 自動配信の履歴を確認する

1 ［自動配信ログ］をクリックします。

2 確認しおわったら、 ［前に戻る］アイコンをクリックします。

■ 通信データの履歴を確認する

1 ［通信データログ］をクリックします。

2 確認しおわったら、 ［前に戻る］アイコンをクリックします。

設定を複製（クローニング）する

本機の設定を別の OKI デバイスにコピーできます。

1 ［登録デバイス一覧］から、クローニング元の OKI デバイスを選択します。

2 ［User Setting］タブを選択します。

3 ［クローニング］をクリックします。

4 クローニング先を選択し、［実行］をクリックします。

5 クローニング元とクローニング先のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

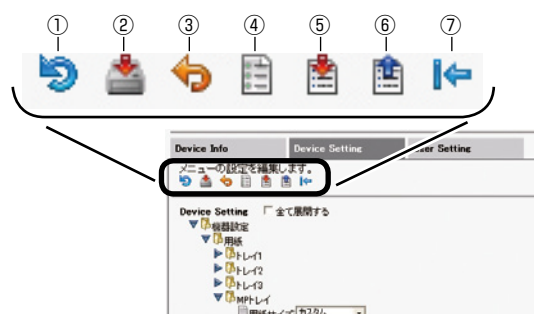
! 注

- ［失敗］と表示されている箇所は、クローニングされていません。もう一度クローニングを行なってください。
- クローニング元が、操作パネルや Web ブラウザー、他の Configuration Tool によって E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイル、自動配信を使用している時は、それらの使用されている機能のクローニングはできません。
- クローニング先が、操作パネルや Web ブラウザー、他の Configuration Tool によって E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイル、自動配信を使用している時、又は時刻指定送信に登録されている時は、それらの使用されている機能のクローニングはできません。

Device Setting タブ

Device Setting プラグインをインストールした場合に表示されます。

本機のメニューを設定したり、設定を別の OKI デバイスにクローニング（複製）することができます。

Device Setting タブの機能を使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。管理者の権限が無いユーザーアカウントで Windows にログインしている場合は、Device Setting タブは表示されません。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		設定の再読み込み	デバイスから設定を再度読み込みます。	−
②		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	−
③		変更前に戻す	現在の内容を破棄して、既に読み込んである設定に戻します。	−
④		管理者設定を表示	管理者設定を表示します。	−
⑤		設定のバックアップ	現在の内容をファイルに保存します。	60 ページ
⑥		設定のリストア	ファイルの設定で内容を復元します。	60 ページ
⑦		トップページに戻る	現在の内容を破棄して Device Setting Plug-in のトップページに戻ります。	−

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

メニューの設定を変更する

1 ［メニュー設定］をクリックします。

2 変更したいメニューを、▶マークをクリックして開きます。

メモ

- ［全て展開する］オプションをチェックするとメニューが全て開きます。チェックを外すとメニューが全て閉じます。

3 ▼を押して、設定値を変更します。

メモ

- 数値や文字を入力する設定値においては、［有効値チェック］ボタンや［有効文字確認］ボタンをクリックしないと、変更されたことにはなりません。
- ［プリンタ機能］-［ＰＣＬ設定］-［使用フォント］を変更して保存した場合、［フォント No.］は本機から再度設定を読み込む事によって変更可能になります。
- ［スキャナ機能］-［スキャン初期値］-［ファイル形式］のカラー及びグレースケールで TIFF が選択された場合、圧縮レベル（カラー及びグレースケール）は表示されなくなり変更できなくなります。
- ［コピー機能］-［コピー初期値］-［枠消去］及び［センター消去］の設定が OFF の場合、［消し幅］は表示されません。
- ［スキャナ機能］-［スキャン初期値］-［枠消去］及び［センター消去］の設定が OFF の場合、［消し幅］は表示されません。

4 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

メモ

- 管理者設定を表示するには、本機の管理者のパスワードが必要です。

注

- ネットワークメニューや一部のメニューは本機能でサポートしていません。

■設定をファイルに保存する

現在の設定を、ファイルに書き出して保存します。

メニューのバックアップをとっておくことができます。

1 ［メニュー設定］をクリックします。

2 ［設定のバックアップ］アイコンをクリックします。

3 ファイル名、保存場所を入力して、［OK］をクリックします。

注

- 本機の管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューはバックアップされません。

■設定をファイルから読み込む

保存しておいた設定を読み込んで復元することができます。

保存しておいた設定を読み込むことで、メニューを簡単に復元することができます。

1 ［メニュー設定］をクリックします。

2 ［設定のリストア］アイコンをクリックします。

3 読み込むファイルを選択して、［OK］をクリックします。

注

- 本機の管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューは復元されません。

メモ

- ［デバイスへ保存］アイコンをクリックするまでは、本機の設定値は反映されません。

設定を複製（クローニング）する

ユーザーの設定を別の OKI デバイスにコピーできます。

1 ［登録デバイス一覧］から、クローニング元の OKI デバイスを選択します。

2 ［Device Setting］タブを選択します。

3 ［クローニング］をクリックします。

4 クローニング先を選択し、［実行］をクリックします。

5 クローニング元とクローニング先のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
結果が表示されます。

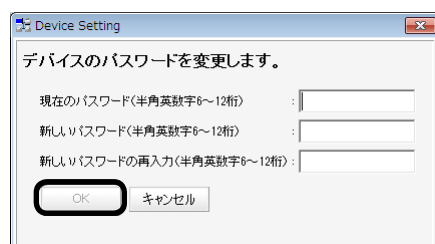
注

- ［失敗］と表示されている箇所は、クローニングされていません。もう一度クローニングを行なってください。
- 管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューはクローニングされません。

パスワードを変更する

本機のパスワードを変更します。

1 ［パスワード変更］をクリックします。

2 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

新しいパスワードは、確認のため、［新しいパスワード］欄と、［新しいパスワードの再入力］欄の 2 ヶ所に入力します。両者が一致しない場合は、警告画面が表示されます。もう一度入力し直してください。

Alert Info プラグイン

Alert Info プラグインをインストールした場合に、Plug-in メニューに表示されます。

Alert Info を設定すると、ファクスを受信したり、印刷が完了したときなどに、それを知らせるメッセージをコンピューターに表示します。このプラグインでは、「ファクスを受信した」「印刷が完了した」などのジョブが完了することを、「イベント」と呼びます。

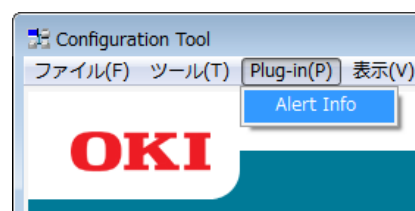
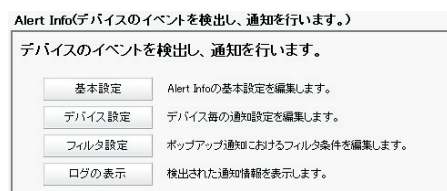
メモ

- Alert Info プラグインを使用する時は、本機の時刻設定とタイムゾーンをコンピューターの時刻とタイムゾーンに合わせておく必要があります。

注

- Alert Info プラグインの機能は、ネットワークで接続されている OKI デバイスのみ使用できます。

■設定します

1 「Plug-in」-「Alert Info」を選択します。

2 必要に応じて、各設定を変更します。

基本設定を変更する

Alert Info プラグインに対する全般的な設定をします。この設定は全ての OKI デバイスに対して有効になります。

ポップアップ通知	OKI デバイスからの通知を受けたとき、ポップアップ表示する、しないを設定します。
ポップアップ時間	ポップアップ表示する時間を設定します。0 の場合は、ポップアップ画面右上の ☒ をクリックするまで表示します。
通信タイムアウト	タイムアウトエラーになるまでの時間を設定します。
問い合わせ間隔	OKI デバイスへイベントの発生状況を問い合わせる間隔を設定します。
取得期間	何日前までに発生したイベントを取得するかを設定します。
ログ保存期間	ログを保存する期間を設定します。

変更した設定を有効にするためには、［更新］をクリックします。

! 注

- OKI デバイスの時刻設定とタイムゾーンが正しく設定されていないと通知されない場合があります。

デバイス設定を変更する

個々の OKI デバイスについて設定します。

一覧から、設定する OKI デバイスをクリックします。

［デバイスの更新］をクリックすると、Configuration Tool に登録されている最新の情報に更新されます。必要に応じて、設定を変更します。

通知	OKI デバイスからイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、OKI デバイスからイベントを取得しません。
ファクス送信	ファクス送信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、ファクス送信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
ファクス受信	ファクス受信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、ファクス受信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
文書印刷	文書印刷のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、文書印刷の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
E メール受信	E メール受信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、E メール受信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。

変更した設定を有効にするためには、［OK］をクリックします。

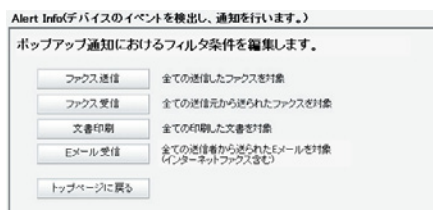
! 注

- 通知を有効にできる OKI デバイスは 1 台までです。
- 初めて OKI デバイスの［通知］を有効にした時刻を基準として、それ以降に発生したイベントのみを取得します。

メモ

- ［通知］が有効に設定されていない OKI デバイスからはイベントを取得しません。

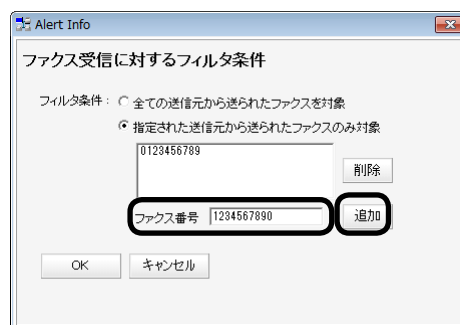
フィルタ設定を変更する

ポップアップ通知の対象となるイベントの条件を設定します。

項　目	設定値	内　容
ファクス送信	全ての送信したファクスを対象	全てのファクス送信の完了を通知します。
	自分が送信したファクスのみ対象	自分が送信したファクスのみを通知します。
ファクス受信	全ての送信元から送られたファクスを対象	ファクス受信した全てを通知します。
	指定された送信元から送られたファクスのみ対象	あらかじめ設定した送信元からファクスが送られてきた場合のみ通知します。
文書印刷	全ての印刷した文書を対象	印刷者を限定せず、全ての場合に通知します。
	自分が印刷した文書のみ対象	自分の印刷が完了したときのみ通知します。
E メール受信	全ての送信者から送られた E メール対象	E メール受信した全てを通知します。
	指定された送信者から送られた E メールのみ対象	あらかじめ設定した送信者から E メールが送られてきた場合のみ通知します。

■送信元の指定方法

ここでは、ファクスの送信元を指定する場合を例に説明します。E メールの場合も同様に設定します。

1 ［指定された送信元から送られたファクスのみ対象］をチェックします。

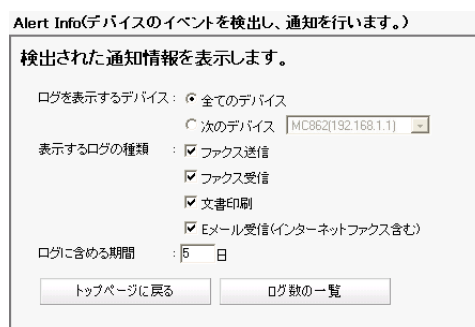
2 ［ファクス番号］に登録したい相手先の番号を入力し、［追加］をクリックします。

複数の相手先を登録する場合は、手順❷を繰り返します。

3 ［OK］をクリックします。

メモ

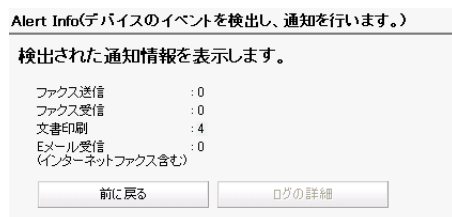
- ファクスの送信元には 100 件まで登録ができます。
- E メールの送信者には 100 件まで登録ができます。

ログを確認する

登録した OKI デバイスに発生したイベントのログを表示します。

ログを表示するデバイス	全てのデバイス	［デバイス設定］に登録されている全ての OKI デバイスのログを表示します。
	次のデバイス	［デバイス設定］に登録されている OKI デバイスの中で 1 台のみ選択して、ログを表示します。
表示するログの種類		チェックした種類のログのみを表示します。
ログに含める期間		何日前までのログを表示するか指定します。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

■ ログ数の一覧

［ログ数の一覧］をクリックすると、通知されたイベントの総数を表示します。

■ ログの詳細

［ログの詳細］をクリックすると、ログの詳細情報をみることができます。

1 ［表示するログの種類］を選択して、見たいログを表示します。

2 ［OK］をクリックすると、画面を閉じます。

■ 通知の表示例

OKI デバイスでイベントが発生すると、通知画面が、ポップアップで表示されます。

通知設定やフィルタ条件を設定している場合は、条件に一致したイベントが発生した場合にのみ、通知画面が表示されます。

（本図は 1 例です。設定により、表示される内容が変わります）

［ログの詳細］をクリックすると、詳細な情報を見ることができます。

（本図は 1 例です。設定により、表示される内容が変わります）

Network Setting プラグイン

Configuration Tool で、ネットワーク設定をすることができます。設定する前に、Network Setting プラグインをインストールしてください。

参照

- ネットワークの設定方法については、便利な機能 / 本体の設定編「Web ブラウザー」を参照してください。

アイコンの種類

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	本機を再度検索します。
	検索条件を変更します。
	本機の IP アドレスを変更します。
	本機を再起動します。
	ネットワークパスワードを変更します。
	指定した本機の Web ページを表示します。

ネットワーク上の本機を検索する

本機を検索できます。

1 ［Plug-in］メニューから［Network Setting］を選択します。

2 ［検索開始］を選択します。
検索結果が表示されます。

検索条件を指定する

1 ［Plug-in］メニューから［Network Setting］を選択します。

2 ［環境設定］を選択します。

3 必要に応じて、検索条件を指定し、［OK］をクリックします。

IP アドレスを変更する

本機の IP アドレスを変更できます。

1 装置の一覧から、本機を選択します。

2 をクリックします。

3 必要に応じて、設定を変更します。

4 ［設定］をクリックします。

5 ネットワークパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

6 ［OK］をクリックし、本機を再起動します。

Storage Manager プラグイン

Storage Manager プラグインは、プリンターに保存されるジョブを管理したり、印刷に使用されるフォームやフォント、ICC プロファイルを格納することができます。

注

- ジョブ管理機能について、暗号化認証ジョブはサポートしていません。

アイコンの種類

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	プロジェクトの新規作成
	プロジェクトを開く
	プロジェクトの保存
	プロジェクトに名前を付けて保存
	プロジェクトへファイルを追加
	プロジェクトからファイルを削除
	PCL フォームファイルのフィルタリング画面を表示
	ダウンロードファイルの作成
	ダウンロードファイルの送信
	プロジェクトの送信
	ファイルの送信
	ジョブ管理画面を表示
	管理者機能画面を表示

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

ICC プロファイルを登録する

プリンターのプロファイルの登録と編集ができます。

以下では、一部の機能を説明します。

注

- プロファイルの登録と編集機能を使用するときは、StorageManager プラグインをインストールしてください。

参照

- プラグインのインストール方法については、「インストールする」(P.40) を参照してください。

1 [Plug-in] > [Storage Manager] を選択し、Storage Manager プラグインを起動します。

2 [ ] をクリックし、新規プロジェクトを作成します。

3 [ ] をクリックし、[ファイルを開く] ダイアログで [ファイルの種類] を「カラーマッチングファイル (.ICC,.ICM)」に変更します。

4 登録したいプロファイルを選択し、[開く] をクリックします。

5 プロジェクトに追加した ICC プロファイルの [コンポーネント] をクリックし、[ファイル編集] ダイアログを表示します。

6 プロファイルを登録したい番号を選択します。

既にプロジェクトに使用されている番号は、選択できなく、黄背景で表示されます。

7 必要な場合は、[コメント] 欄にコメントを入力してください。

8 [OK] ボタンをクリックし、変更を適用します。

9 画面の下部にあるデバイスリストのプリンターを選択します。

10 [ ] をクリックし、追加した ICC プロファイル所属のプロジェクトをプリンターに送信します。

11 「完了しました。」というメッセージが表示されることを確認し、[OK] をクリックします。

フォームを登録する（フォームオーバーレイ）

プリンターにロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。ここでは、フォームの登録方法を説明します。

参照

- オーバーレイの印刷方法については、便利な機能 / 本体の設定編「登録したフォームで印刷する（オーバーレイ印刷）」を参照してください。

メモ

- Windows PS プリンタードライバーを使用するときは、管理者の権限が必要です。

■ フォームを作成する

1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。

2 お使いのプリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から必要なプリンタードライバーを選択します。

3 [ポート] タブを選択し、[印刷するポート] から [FILE:] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。

4 プリンターに登録したいフォームを作成します。

Windows PCL プリンタードライバーを使用する場合は、手順 9 に進みます。

5 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

6 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。

7 [印刷オプション] タブを選択し、[オーバーレイ] をクリックします。

8 [フォームの作成] を選択します。

9 印刷します。

10 保存するファイル名を入力します。

11 [ポート] タブの [印刷するポート] を元に戻します。

■ Configuration Tool でフォームをプリンターに登録する

1 [ ] をクリックします。

2 [ ] をクリックし、作成したフォームファイルを選択します。
フォームがプロジェクトに追加されます。

3 フォームファイルをクリックします。

4 [ID] を入力し、[OK] をクリックします。

注

- [ボリューム] と [パス名] は変更しないでください。

メモ

- Windows PS プリンタードライバーを使用するときは、[コンポーネント] を入力します。

5 Storage Manager プラグイン画面の下部のウィンドウでプリンターを選択します。

6 [ ] をクリックします。

7 [OK] をクリックします。

ハードディスクやフラッシュメモリーの空き容量を確認する

ハードディスクやフラッシュメモリーの空き容量を確認できます。

1 Storage Manager プラグイン画面の下のデバイス選択エリアからデバイス名をクリックし、選択したデバイスのリソース画面を表示します。

2 デバイスと通信することにより、ストレージ、パーティション、ディレクトリー、ファイルなどを表示します。

ハードディスクから不要なジョブを削除する

ハードディスクの [共通] パーティションにある印刷ジョブを削除できます。

メモ

- 印刷データを認証印刷または保存したあとも、ジョブは [共通] パーティションに残るため、削除しないとハードディスクの容量が少なくなります。

注

- Storage Manager プラグインでは、暗号化された認証印刷は削除できません。

1 [ ] をクリックします。

2 特定のユーザーの印刷ジョブを見るには、パスワードを入力し、[ジョブパスワードの運用] をクリックします。
全ての印刷ジョブを見るには、管理者パスワードを入力し、[管理者パスワードの運用] をクリックします。
管理者パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

3 削除したいジョブを選択し、[ ] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

PDF Print Direct

本機に PDF ファイルを直接送り印刷することで、Adobe Reader などのようなアプリケーションを起動してファイルを開く手間が省きます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2008/Windows Server 2003
日本語版の動作するコンピューター

注

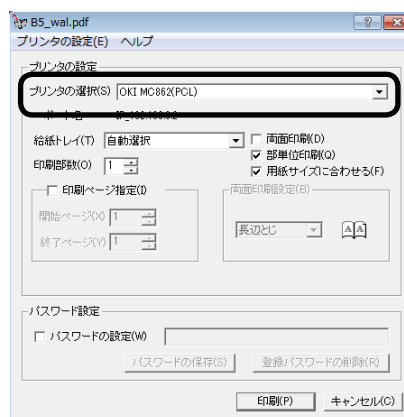
- セットアップにはコンピューターの管理者権限が必要です。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 本機能ではマルチページ印刷は未対応です。
- 128bit-RC4 レベルで暗号化された PDF ファイルは印刷できません。
- 閲覧者に印刷許可を与えていない PDF ファイルを印刷する場合は、マスタパスワードを指定してください。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、本ユーティリティーを使用しての印刷はできません。ジョブ制限モードについては、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の「機器管理」をご覧ください。

以下の説明は、Windows 7 を例にしています。

PDF ファイルを印刷する

1 ［デバイスとプリンター］フォルダーに［OKI（製品名）(**)］(** は PS または PCL（プリンタードライバーの種類））アイコンがあることを確認します。

2 印刷したい PDF ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示されるので、「PDF Print Direct」を選択します。

3 印刷可能な PDF ファイルの場合、下の画面が表示されます。［プリンタの選択］で使用するプリンタードライバーを選択します。

4 暗号化ファイルを印刷する場合は、［パスワードの設定］にチェックを付けて、パスワードを入力します。今後も同じパスワードを使用する場合は、［パスワードの保存］をクリックします。パスワードが不要になった場合は、［登録パスワードの削除］をクリックします。登録できるパスワードは 1 つです。

5 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

プリントジョブアカウンティング Lite

プリントジョブアカウンティング Lite は、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

! 注

- プリントジョブアカウンティング Lite は「ソフトウェア DVD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピューター

インストールする

1. 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

   自動的にファイルが解凍され、インストーラーが起動します。

2. 画面の指示に従ってセットアップします。

起動する

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティング Lite] - [プリントジョブアカウンティング Lite] を選択します。

詳しくは「操作マニュアル」をご覧ください。「操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

注

- 工場出荷時の状態で保存可能ログ数につきましては、便利な機能 / 本体の設定編「プリントジョブアカウンティングの使用について」をご覧ください。
- プリントジョブアカウンティング Lite では、ユーザー ID を登録することはできません。
- 読取サイズがハーフレターでスキャンした場合は、ログの原稿サイズにはステートメントと表示されます。
- 本機でログフル時の操作は［古いログを削除する］になります。
- ユーザー ID が 1900000000 のジョブは装置が起動したジョブを表します。

プリントジョブアカウンティングクライアント

プリンタードライバーにユーザー名およびユーザー ID を設定するユーティリティーです。

参照

- インストール方法は、「ユーティリティーをインストールする」(P.10)をご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/ Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピューター

注

- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。

本項の説明は、全て Windows 7 を例にしています。

プリンタードライバーを例にしていますが、ファクスドライバーにも設定可能です。

ジョブアカウントモードを変更する

ジョブアカウントモードとは Windows クライアントコンピューターでユーザー名とユーザー ID を設定する方式です。4 つのモードがあります。

ジョブアカウントモードの種類

● タブモード

プリンタードライバーのプロパティに、ユーザー名とユーザー ID を設定するためのタブが表示されます。

ユーザー自身がユーザー名とユーザー ID の設定や変更を行う場合に使用します。

● ポップアップモード

印刷ジョブを送信するごとに、ユーザー名とユーザー ID を設定するポップアップ画面が表示されます。

1 台のコンピューターを複数ユーザーが使用している場合に使用します。

注

- WindowsXP の簡易ユーザー切り替え機能を使用する場合は選択しないでください。
- 共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、非表示モードを使用してください。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 では選択できません。

● 非表示モード

共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、非表示モードを使用してください。システム管理者があらかじめ Windows へのログオンユーザー名に対応するユーザー ID とユーザー名を記述した ID ファイルを作成します。このファイルをクライアントソフトウェアで指定することで、印刷を行ったユーザーを識別し、対応するユーザー ID を自動的に取得します。また、全てのログオンユーザーに対して同じユーザー ID を設定することも可能です。ユーザーは設定を行ったり、自分のユーザー ID について知る必要はありません。Windows コンピューターをプリントサーバーとし、本機を共有プリンターとして使用する場合、プリントサーバーとなるコンピューターにクライアントソフトウェアをインストールし、使用します。

● 未対応モード

ユーザーの識別を行わず、すべてのジョブは未登録 ID として認識されます。ユーザー名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザー ID は 0 でログが残ります。ユーザーの識別が必要ない場合に使用します。

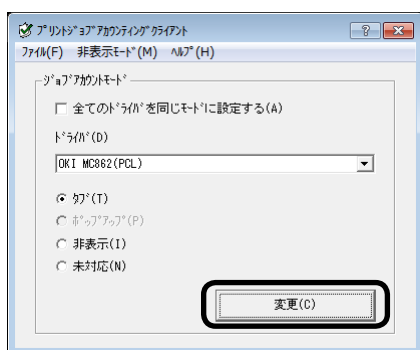
! 注

- プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行うと未対応モードになりますので、再度ジョブアカウントモードを設定し直してください。ただし、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用している場合は、モードを設定しなおす必要はありません。

タブモードで使用する

1 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［プリントジョブアカウンティングクライアント］-［ジョブアカウントモードの変更］を選択します。

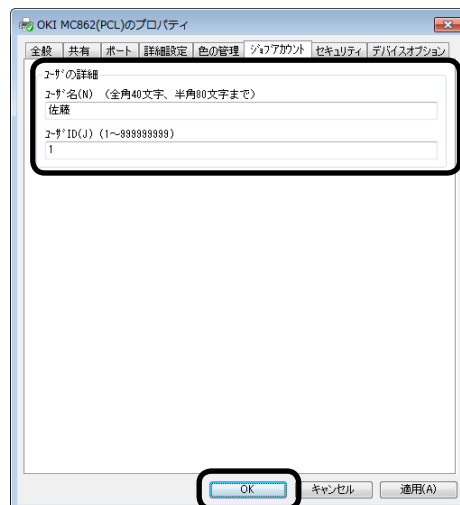
2 ［ドライバ］リストから設定する本機のプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

3 ［タブ］を選択し、［変更］をクリックします。

4 変更通知画面で［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューの［閉じる］を選択します。

6 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

7 プリンタードライバーアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プリンターのプロパティ］を選択します。

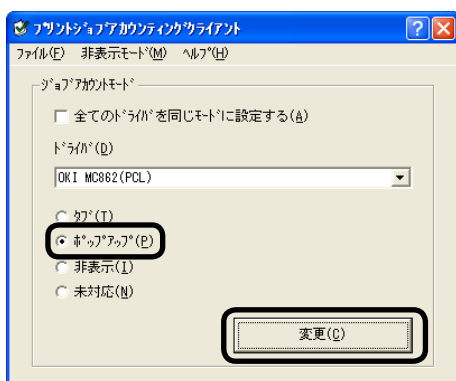
8 ［ジョブアカウント］タブでユーザ名とユーザ ID を入力し、［OK］をクリックします。初期設定ではユーザ名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザ ID は 1 です。

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

9 アプリケーションから印刷します。

ポップアップモードで使用する

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

2 [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

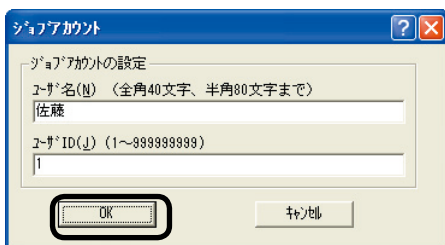
3 [ポップアップ] を選択し、[変更] をクリックします。

(Windows XP の画面)

4 変更通知画面で [OK] をクリックします。

5 [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

6 アプリケーションから印刷します。

7 ポップアップ画面が表示されるので、ユーザ名とユーザ ID を入力し、[OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックした場合、ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログが残ります。印刷ジョブはキャンセルされません。

(Windows XP の画面)

非表示モードで使用する

■非表示モードでユーザー毎にユーザ ID を切り替えて使用する

1 メモ帳、市販の表計算ソフトウェア等で ID ファイルを作成します。

● メモ帳の場合

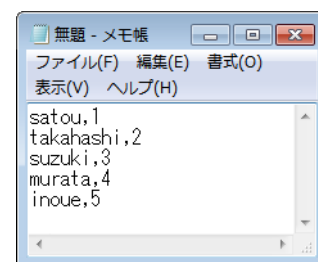
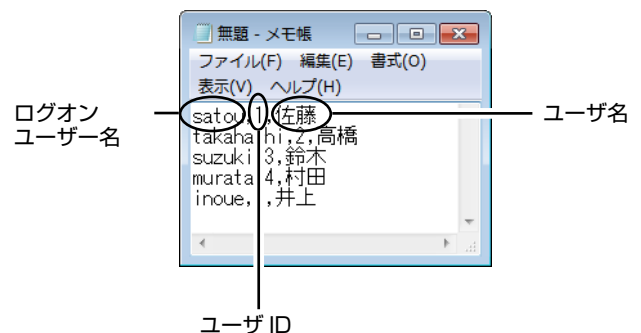
(1) 各行に 1 ユーザーずつ、ログオンユーザー名、ユーザ ID、ユーザ名を記載します。ログオンユーザー名、ユーザ ID、ユーザ名の間は「,」で区切ります。

ログオンユーザー名： Windows にログオンするときに入力するユーザー名

ユーザ ID：ログオンユーザー名に対応するユーザ ID

ユーザ名：プリントジョブアカウンティングで使用するユーザ名
ユーザ名は省略できます。省略する場合、ログオンユーザー名がユーザ名として使用されます。

ログオンユーザー名　ユーザ名　ユーザ ID

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
satou,1,佐藤
takahashi,2,高橋
suzuki,3,鈴木
murata,4,村田
inoue,,井上

(2) テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

● 市販の表計算ソフトウェアの場合

(1) 各行に 1 ユーザーずつ、ログオンユーザー名、ユーザ ID、ユーザ名を記載します。

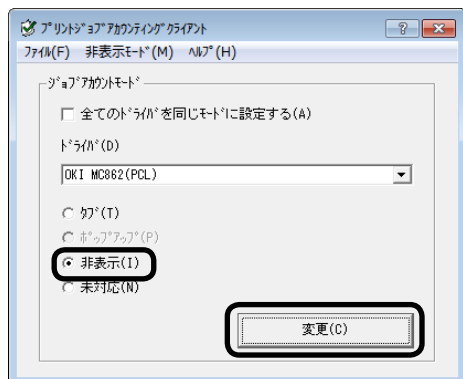
(2) CSV 形式でファイルを保存します。

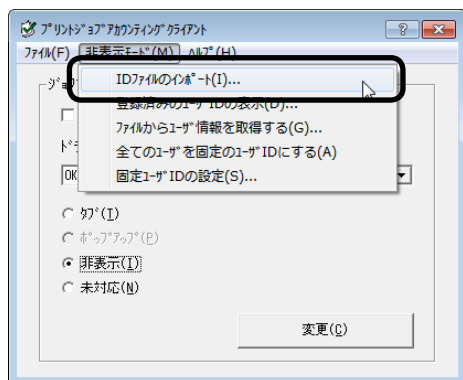
2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

3 [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

注

- 共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

4 [非表示] を選択し、[変更] をクリックします。

5 変更通知画面で [OK] をクリックします。

6 [非表示モード] メニューの [ID ファイルのインポート] を選択します。

7 手順 1 で作成した ID ファイルを指定して [開く] をクリックします。

8 [非表示モード] メニューの [全てのユーザを固定のユーザ ID にする] にチェックがついている場合は、チェックを外します。

9 [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

10 アプリケーションから印刷します。

注

- 登録されていないログオンユーザー名で Windows にログオンして印刷した場合、ユーザ名は現在のログオンユーザー名、ユーザ ID は 0 でログが残ります。

メモ

- 非表示モードメニューの「登録済みのユーザ ID の表示」を選択し、既に登録されているユーザ ID の確認や、不要なユーザ ID の削除、ID ファイルのインポートを行うことができます。
- 非表示モードメニューの「ファイルからユーザ情報を取得する」を選択し、別のプリントジョブアカウンティングクライアントに登録されているユーザー情報を取得することができます。

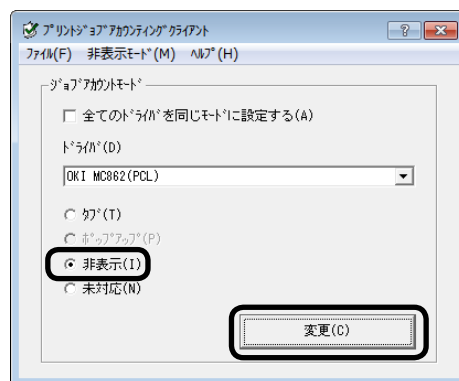
■非表示モードで全てのユーザーを同じユーザ ID で使用する

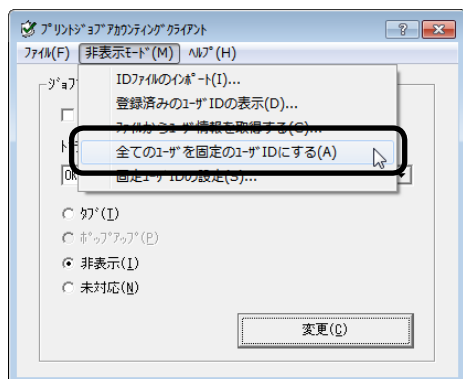
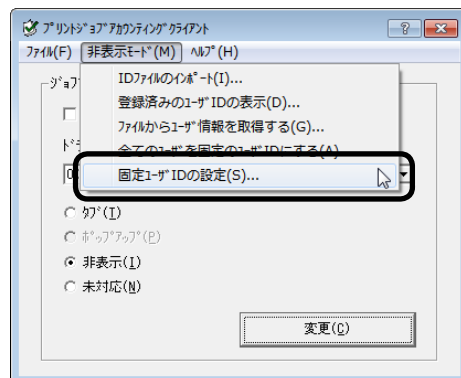
1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

2 [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

注

- 共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

3 [非表示] を選択し、[変更] をクリックします。

4 変更通知画面で [OK] をクリックします。

5 [非表示モード] メニューの [全てのユーザを固定のユーザ ID にする] にチェックをつけます。

6 [非表示モード] メニューの [固定ユーザ ID の設定] を選択します。

7 ユーザ名とユーザ ID を入力し、[OK] をクリックします。

メモ

- ユーザ名を省略した場合は、ログオンユーザー名がユーザ名として使われます。

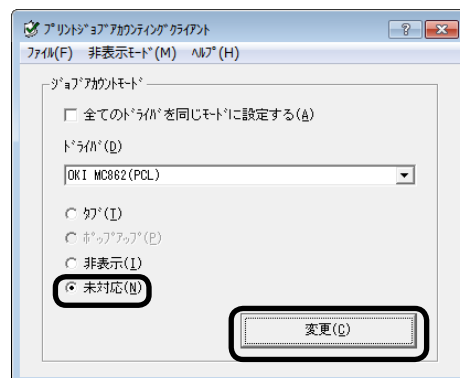
8 [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

9 アプリケーションから印刷します。

未対応モードで使用する

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

2 [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

3 [未対応] を選択し、[変更] をクリックします。

4 変更通知画面で [OK] をクリックします。

5 [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

6 アプリケーションから印刷します。

プリンタ表示言語セットアップ

プリンターの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

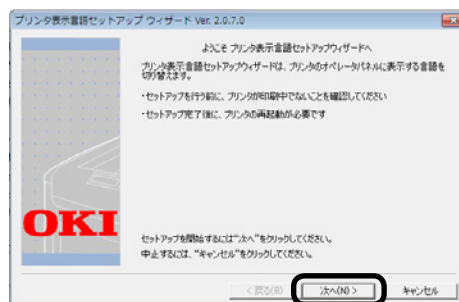
Windows 7/Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2008/Windows Server 2003
日本語版が動作しているコンピューター

以下の説明は、Windows 7 を例にしています。

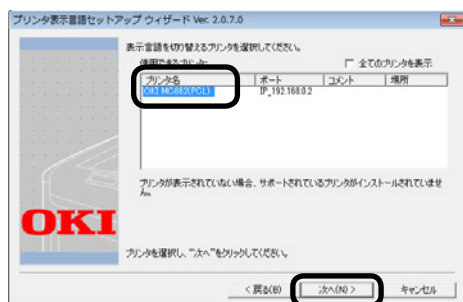
! 注

- 本プログラムは、プリンタードライバーを使用します。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください。詳しくは、基本操作編「コンピューターにドライバーをインストールする流れ」をご覧ください。

起動する

1. 本機の電源を ON にします。
2. Windows が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。
3. 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。
4. 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。
5. 設定する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。
6. 装置の接続方法を選択し、「次に進む」をクリックします。
7. 「その他の装置設定」をクリックします。
8. [言語の設定機能] にチェックし、[次へ] をクリックします。
9. [次へ] をクリックします。

メモ

- タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本ツールのバージョンが表示されます。

10 言語を切り替える装置を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ

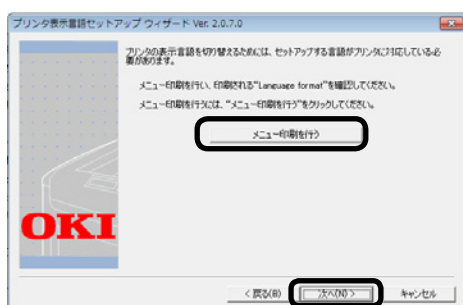
- [使用できるプリンタ] リストには本ツールがサポートされている装置が表示されます。

11 セットアップする言語を選択し、[次へ] をクリックします。

12 確認のメッセージが表示されましたら [はい] をクリックします。

13 [メニュー印刷を行う] をクリックし、メニュー印刷を実行します。[次へ] をクリックします。

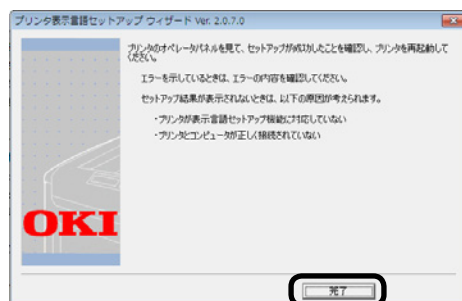
メモ

- メニュー印刷結果はこの後の画面で使用します。

14 メニュー印刷結果の "Language format" が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、[次へ] をクリックします。

15 セットアップする内容を確認し、[セットアップ] をクリックします。

メモ

- 画面の [Language version:] は、本ツールに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

16 [完了] をクリックします。

17 本機の操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、本機を再起動してください。

Power Off/On Message Data Received OK	装置を再起動してください メッセージデータ書込み完了
英語表示イメージ	日本語表示イメージ

OKI LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、本機のステータス確認ができます。

参照

- インストール方法は、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2008/Windows Server 2003
日本語版が動作しているコンピューター

TCP/IP で動作しているコンピューター

注

- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。

以下の説明は、Windows 7 を例にしています。

起動する

1 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティ］を選択します。

下のような画面が表示されます。

「複数台のデバイスで印刷する」（P.81）を設定した場合に表示されます。

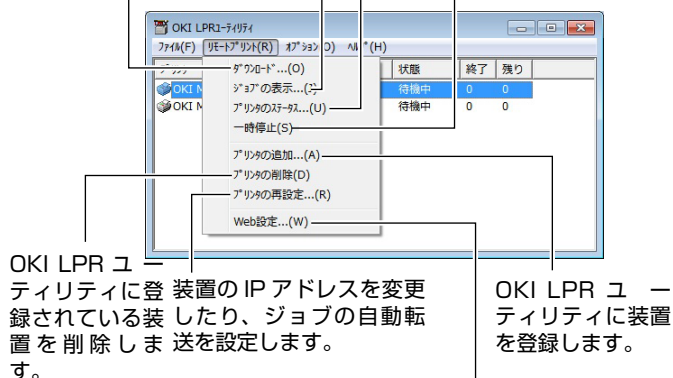
送信が完了したジョブ（データ）の数を表します。

OKI LPR ユーティリティに登録してある装置

「デバイスにコメントを追加する」（P.83）で「コメントを表示」を設定した場合に表示されます。

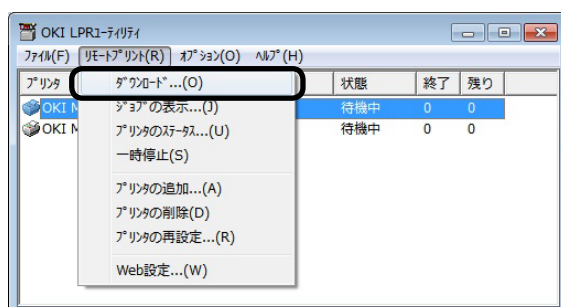
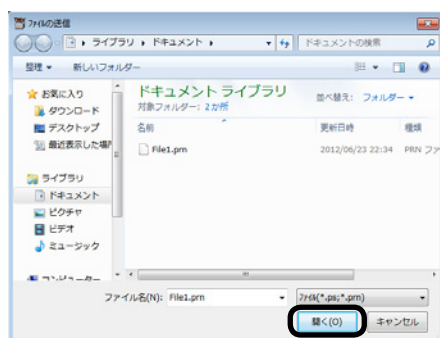
まだ送信されていないジョブ（データ）の数を表します。

OKI LPR ユーティリティの装置の状態を表します。（実際の装置の状態とは異なります。）

リモートプリントの項目一覧

ファイルをダウンロードする

ファイルを本機にダウンロードすることができます。

1 装置を選択します。

2 ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

3 ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブを確認 / 削除 / 転送する

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。

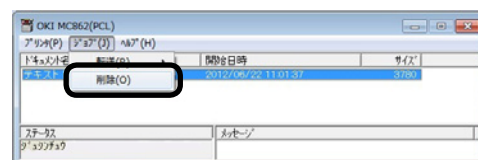
また、本機が使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他の装置へ転送することができます。

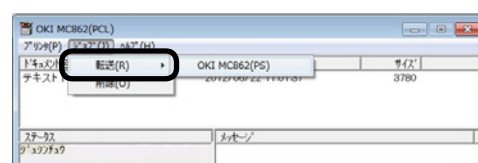
注
- 他社装置へは転送できません。
- 同じ機種名へ転送してください。

1 装置を選択します。

2 ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

3 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

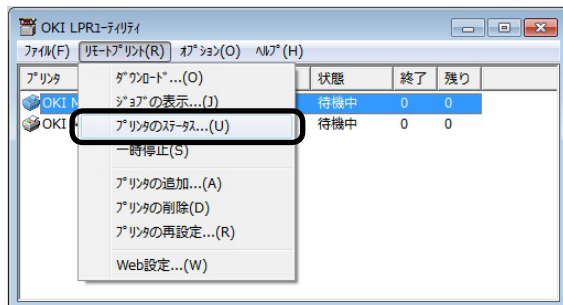
4 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先の装置を選択します。

転送先の装置にジョブが送られます。

注
- 転送できる装置は、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

デバイスの状態を表示する

プリンターのステータスを表示させることができます。

1 装置を選択します。

2 [リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス] を選択します。

プリンターのステータスが表示されます。

メモ

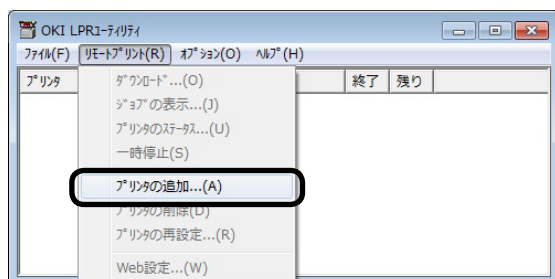
- ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

デバイスを追加する

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

注

- すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンターは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

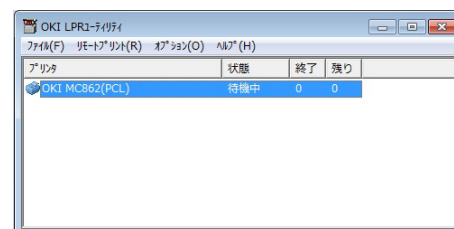
1 [リモートプリント] メニューの [プリンタの追加] を選択します。

2 [プリンタ] を選択し、[IP アドレス] にプリンターの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

注

- [プリンタ] には、[デバイスとプリンター] フォルダーにプリンタードライバーが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンターに設定している場合は表示されません。

メモ

- [検索] をクリックしてネットワーク上の沖データ製装置を検索することもできます。

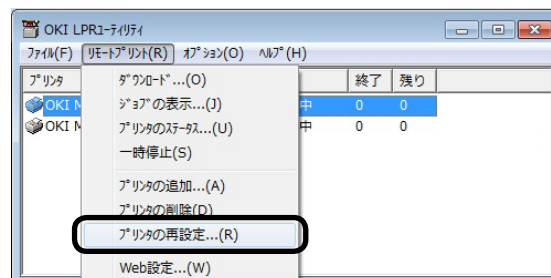
メインウィンドウに装置が追加されます。

ジョブを自動的に転送する

本機が使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他の装置へ転送することができます。

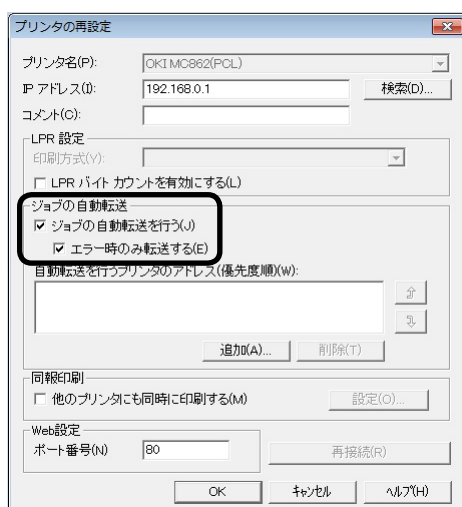
注

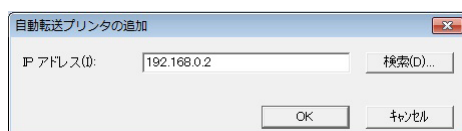
- 他社装置へは転送できません。
- 必ず、同じ機種名へ転送してください。

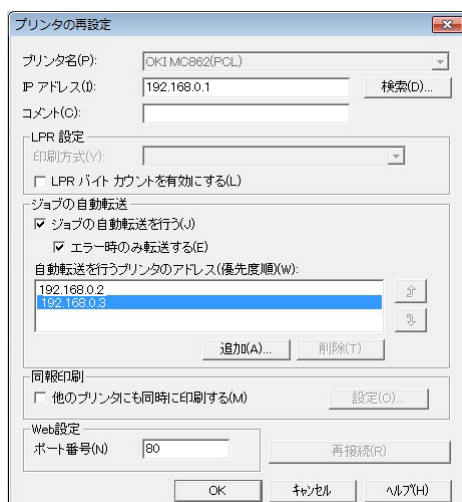
1 装置を選択します。

2 [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 ［ジョブの自動転送を行う］にチェックを付けます。

装置が「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

5 ［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

メモ

● ［検索］をクリックして、ネットワーク上の沖データ製装置を検索することもできます。

6 転送先の候補の数だけ、5の操作を繰り返します。

メモ

● 転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更する装置を選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります。

7 ［OK］をクリックします。

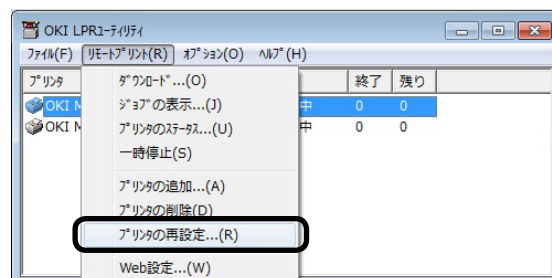
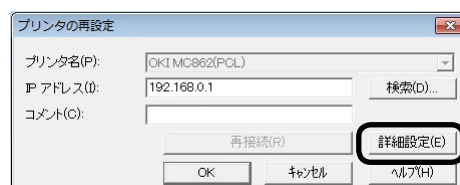
複数台のデバイスで印刷する

一度の印刷指示で複数の装置に印刷することができます。

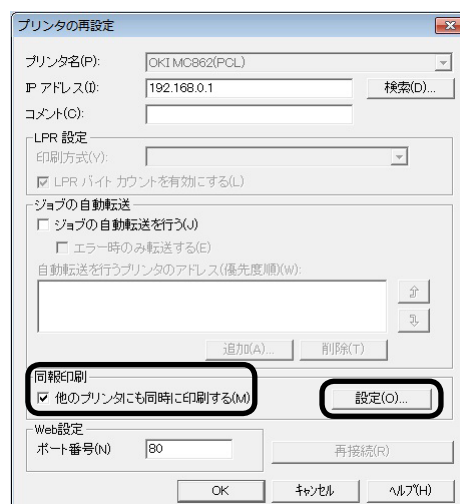
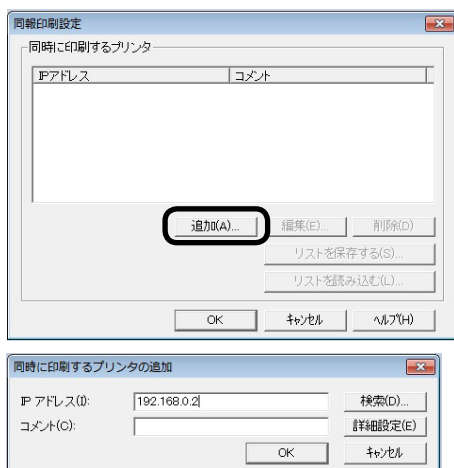
注

● 同時に印刷する装置は、必ず同じ機種を指定してください。

1 装置を選択します。

2 ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

1 本機で利用できるユーティリティ・ソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

5 ［追加］をクリックし、同時に印刷する装置の IP アドレスを設定します。

メモ

- 同時に印刷する装置に対しても、コメントを追加することができます。「デバイスにコメントを追加する」（P.83）をご覧ください。

6 追加したい装置の数だけ、5の操作を繰り返します。

メモ

- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加した装置の情報を保存することができます。
- 保存した装置の情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

7 ［OK］をクリックします。

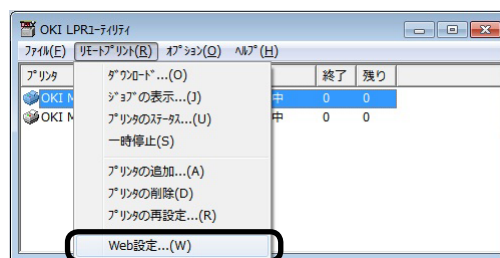
Web ブラウザーを開く

OKI LPR ユーティリティより、装置のネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザーを起動します。

メモ

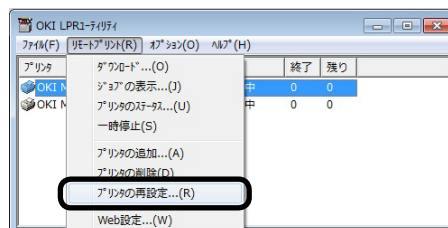
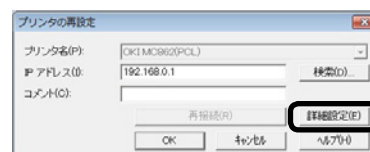
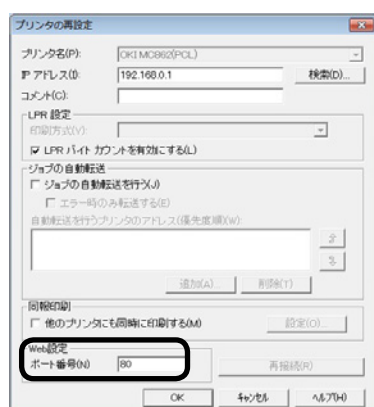
- 各設定の設定方法については便利な機能 / 本体の設定編「Web ブラウザー」をご覧ください。

1 装置を選択します。

2 ［リモートプリント］メニューの［Web 設定］を選択します。

メモ

- Web ポート番号が変更されている場合は、OKI LPR ユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

(1) 装置を選択します。

(2) ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

(4) ［ポート番号］に、Web ポート番号を入力します。

(5) ［OK］をクリックします。

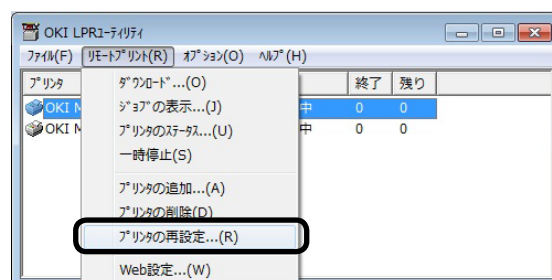
デバイスにコメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加した装置へ、コメントを追加することができます。

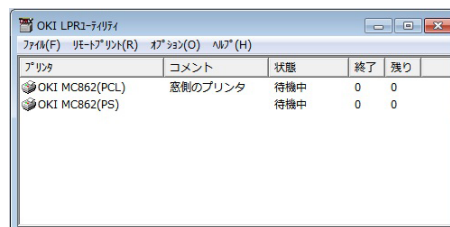
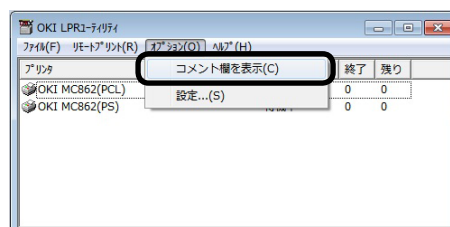
メモ

- 装置の設置場所、オプション装置などを入力すると便利です。

1 プリンターを選択します。

2 ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

3 ［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

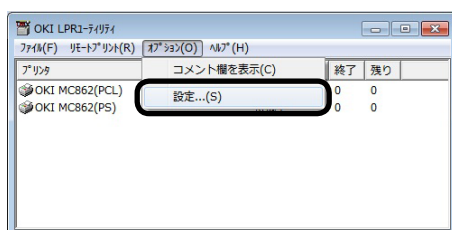
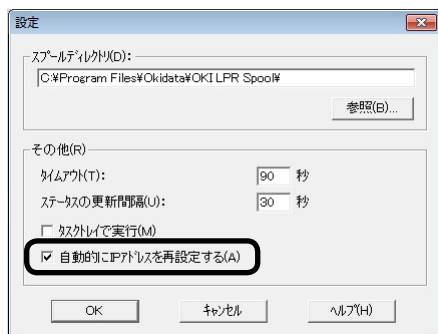
4 ［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

1 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

IP アドレスを自動的に設定する

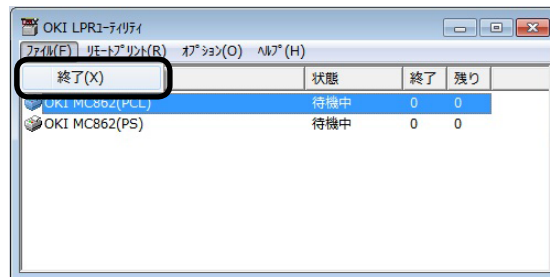
DHCP サーバーに接続し装置の電源を入れる度に装置の IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

! 注

- 検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

1 [オプション] メニューの [設定] を選択します。

2 [自動的に IP アドレスを再設定する] にチェックを付けます。

3 [OK] をクリックします。

アンインストールする

1 [ファイル] メニューの [終了] を選択します。

2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [OKI LPR ユーティリティ] - [OKI LPR ユーティリティの削除] を選択します。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

3 [はい] をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extension

プリンタードライバーから本機の設定項目を確認したり、本機のオプション構成の設定が容易にできます。

参照

● Network Extension は、プリンタードライバーと一緒にインストールされます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/
Windows Server 2008/Windows Server 2003
日本語版が動作しているコンピューター

TCP/IP で動作しているコンピューター

注

- プリンタードライバーと連動して動作するため、プリンタードライバーのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタードライバーのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタードライバーの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  - OKI LPR Port
  - Standard TCP/IP Port
- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。

本機の設定を確認する

接続している本機の設定内容などが確認できます。

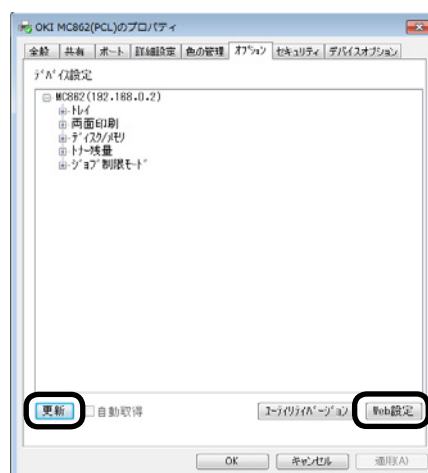
注

- Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 [OKI（製品名）(PS)]、[OKI（製品名）(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［オプション］タブをクリックします。

4 ［更新］ボタンをクリックします。

（Windows 7 PCL ドライバー の画面）

「デバイス設定」に本機の設定内容が表示されます。

5 ［OK］をクリックします。

メモ

- ［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザーが起動し、本機の設定内容が表示されます。詳しくは、便利な機能 / 本体の設定編「Web ブラウザー」をご覧ください。

オプションの自動設定をする

接続している本機のオプション構成を取得して、プリンタードライバーの設定を自動的に行うことができます。

注

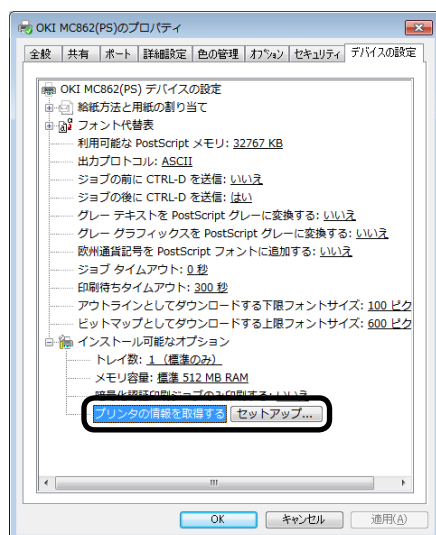
- Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

■Windows PS ドライバーの場合

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI（製品名）(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［デバイスの設定］タブをクリックします。

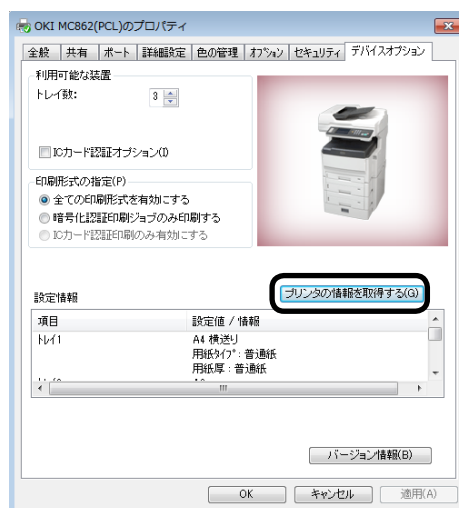
4 ［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［セットアップ］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

■Windows PCL ドライバーの場合

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI（製品名）(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［デバイスオプション］タブをクリックします。

4 ［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

アンインストールする

1 ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

2 ［OKI Network Extension］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

3 画面に従って削除します。

TELNET

本機の各ネットワークプロトコルの設定ができます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

OS　　　　　: Windows 7

装置　　　　: MC862

IP アドレス　: 192.168.0.2

MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

! 注

- MACアドレスは、操作パネルの[機器設定]キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、表示されます。

1 Windows のコマンドプロンプトを起動します。

2 ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

3 telnet で本機に接続します。

! 注

- ユーザー名は「root」、パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下６桁」です。

```
telnet 192.168.0.2
MC862 TELNET Server (Ver 01.01).
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
 No.  M E N U (level.1)
------------------------------------------
------------------------
   1 : Status / Information
   2 : Device Config
   3 : Network Config
   4 : Security Config
   5 : Maintenance
  99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

4 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

5 各項目を設定します。

6 本機からログアウトします。

新しい設定が本機に送信されます。

色見本印刷ユーティリティ

色見本印刷ユーティリティは本機で RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティーです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えばよいかを確認することができます。

注

- Macintosh では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティは、プリンタードライバーと一緒にインストールされます。

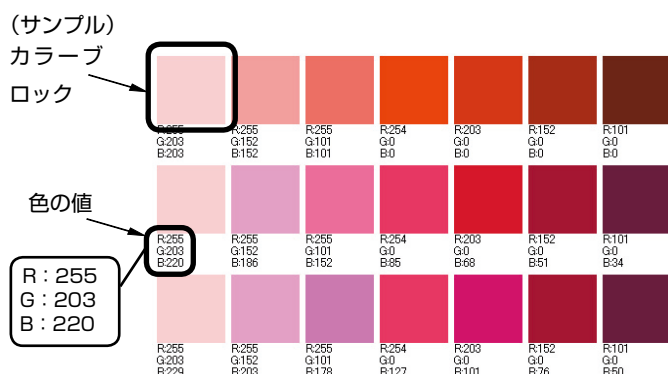
1 色見本を印刷します。

(1) [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [色見本印刷ユーティリティ] - [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。

(2) [印刷] ボタンをクリックします。

(3) 本機を選択します。

(4) [OK] または [印刷] をクリックします。

色見本が 3 ページ印刷されます。

メモ

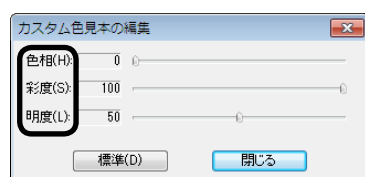
- カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0 ～ 255）を表しています。

(5) 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

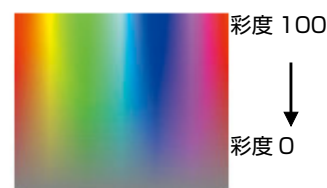
メモ

- 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

a [切り替え] ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。

b [詳細] ボタンをクリックし、[カスタム色見本の編集] ダイアログを表示します。

c 希望の色がモニター画面で表示されるまで、3 つのバーを調整し、[閉じる] をクリックします。

- 色相：色相を変更します。0 は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

- 彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

- 明度：濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

d [印刷] ボタンをクリックします。

e 本機を選択します。

f [OK] または [印刷] をクリックします。

本機から 1 ページ印刷されます。

g 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順 a から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本の RGB 値を変更します。

- アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

(3) 印刷します。

- アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタードライバー設定値を使用してください。

1 本機で利用できるユーティリティ・ソフトウェア
2 Windows/Macintosh用ユーティリティー
3 Windowsユーティリティー
4 Macintoshユーティリティー
索引

4
Macintosh ユーティリティー

パネル言語セットアップ

操作パネルの表示言語を変更できます。

1 本機のメニューマップを出力します。

設定を出力するには、＜設定＞ボタンを押し、[レポート印刷] > [メニューマップ] を選択します。

2 パネル言語セットアップユーティリティーを起動します。

参照

● 「ユーティリティーをインストールする」(P.10) をご覧ください。

3 接続方法を選択します。

[TCP/IP] を選択したときは、IP アドレスを入力します。IP アドレスは、手順 1 で出力したメニューマップで確認できます。

4 [OK] をクリックします。

5 メニューマップの「Language Format」の値と、画面に表示されている値が以下の条件に一致することを確認します。

条件 1：バージョンの先頭数字が一致していること

条件 2：画面に表示されている値が「Language Format」の値と同じか、より新しい（大きい）こと

メモ

● 条件 1 を満たさない場合は、言語設定をダウンロードできません。条件 1 を満たさないでダウンロードを行うと操作パネル上にエラーが表示されます。復旧するには、本機を再起動してください。条件 1 を満たしていても条件 2 を満たさない場合は使用できますが、設定名の一部が英語表示されることがあります。

6 言語を選択します。

7 [ダウンロード] をクリックします。

言語を設定するファイルが本機に送信され、送信が完了したことを示すメッセージが表示されます。

8 本機を再起動します。

プリントジョブアカウンティングクライアント

プリンタードライバーにユーザー名およびユーザー ID を設定するユーティリティーです。

参照

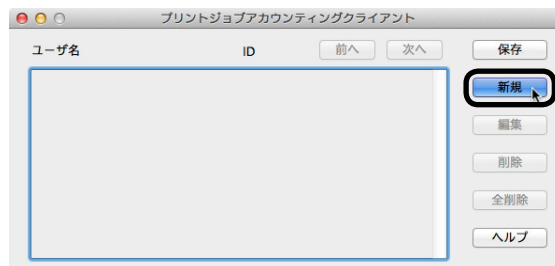
- インストール方法は、「ユーティリティーをインストールする」(P.10) をご覧ください。

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7 の日本語版が動作する Macintosh

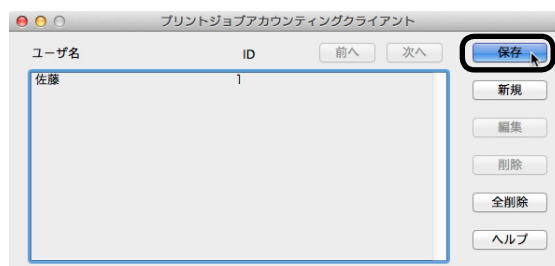
ユーザー ID とユーザー名を登録する

プリントジョブアカウンティングを起動します。

1 [新規] をクリックします。

2 Mac OS X へのログイン名、プリントジョブアカウンティングで使用するユーザー ID、ユーザ名を入力し、[保存] をクリックします。

メモ

- 複数のユーザーを登録する場合はこの操作を繰り返します。

3 [保存] をクリックします。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

5 クライアントソフトウェアを終了します。

複数のユーザーを同時に登録する

CSV ファイルを使用して一度に複数のユーザー ID、ユーザー名を登録できます。Mac OS X を複数のログインユーザー名で使用している場合に便利です。

1 市販のソフトなどでを使用して、CSV ファイルを用意します。

CSV ファイルは、 Mac OS X ログイン名，ユーザー ID，ユーザー名 の順番に記述します。

(1) 各行に 1 ユーザーづつ、Mac OS X ログイン名，ユーザー ID，ユーザー名を入力します。

! 注

- ユーザ ID は、半角数字で入力します。

(2) CSV 形式で保存します。

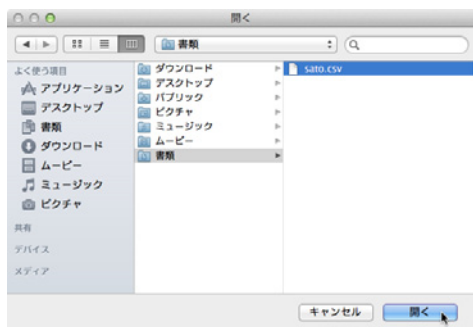
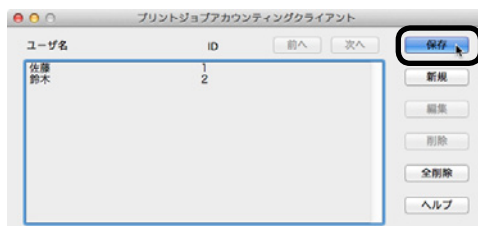
2 クライアントソフトウェアを使用して登録します。

(1) プリントジョブアカウンティングを起動します。

参照

- 「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。

(2) ファイルメニューからインポートを選択します。

(3) 手順 1 で作成した CSV ファイルを読み込みます。

(4) ［保存］をクリックします。

(5) パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

(6) クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザー ID とユーザー名を変更する

クライアントソフトウェアを使用して既に登録してあるユーザー ID、ユーザー名を変更することができます。

1 プリントジョブアカウンティングを起動します。

参照

● 「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。

2 変更したいユーザーを選択し、[編集] をクリックします。

3 新しいユーザー ID、ユーザー名を入力し、［保存］をクリックします。

4 ［保存］をクリックします。

5 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

6 クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザー ID とユーザー名を削除する

1 プリントジョブアカウンティングを起動します。

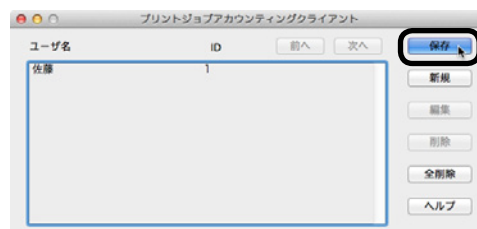
参照

● 「ユーティリティーをインストールする」（P.10）をご覧ください。

2 削除したいユーザーを選択し、[削除] をクリックします。

メモ

● 登録してあるユーザーを全て削除する場合は、［全削除］をクリックします。

3 ［保存］をクリックします。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

5 クライアントソフトウェアを終了します。

NIC 設定ツール

NIC 設定ツールを使って、ネットワーク設定をすることができます。

NIC 設定ツールを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

! 注

- TCP/IP を設定してください。

IP アドレスを設定する

1 NIC 設定ツールを起動します。

参照

- 「ユーティリティーをインストールする」(P.10) をご覧ください。

2 本機を選択します。

3 [設定] メニューから [IP アドレス設定] を選択します。

4 必要に応じて設定を行い、[設定] をクリックします。

5 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、Mac アドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

6 [OK] をクリックし、新しい設定を有効にします。

本機のネットワークカードが再起動します。

Web 設定をする

Web ページを起動して、本機のネットワーク設定をすることができます。

Web 設定を有効にする

1 [設定] メニューから [Web 設定] を選択します。

2 [有効] を選択し、[設定] をクリックします。

3 [パスワード入力] にパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

4 確認ウィンドウで、[OK] をクリックします。

Web ページを開く

1 NIC 設定ツールを起動します。

2 本機を選択します。

3 [設定] メニューから [Web ページ表示] を選択します。

Web ページが起動し、本機の状態ページが表示されます。

NIC 設定ツールを終了する

1 [ファイル] メニューから [終了] を選択します。

プロファイルアシスタント

この節では、プロファイルアシスタントユーティリティーについて説明します。本機の ICC プロファイルを使用して、カラーを調整できます。ICC プロファイルは、カラーの管理全般に使用されます。この機能を使用するためには、入力装置（モニター、スキャナー、デジタルカメラなど）の ICC プロファイルをあらかじめ本機に登録しておく必要があります。ICC プロファイルを登録するには、Windows の場合は Configuration Tool、Macintosh の場合はプロファイルアシスタントを使用します。

注

- プロファイルアシスタントは、「ソフトウェア DVD-ROM」に格納されていませんので、沖データホームページよりダウンロードしてください。
- 入力装置または出力装置にプロファイルがない場合は、その装置の製造元や販売店にお問い合わせください。

参照

- Configuration Tool のインストール方法については、「ユーティリティーをインストールする」（P.10）を参照してください。

ICC プロファイルを登録する

■Mac OS X の場合

1 プロファイルアシスタントを起動します。

2 ［ネットワーク］または［USB］タブを選択します。

本機を USB で接続している場合は、［USB］を選択します。本機をネットワークで接続している場合は、［ネットワーク］を選択します。

3 登録したい装置を選択し、［選択］をクリックします。

注

- USB2.0 には対応していません。このユーティリティーを USB で使用する場合は、USB1.1 で接続するために本機の USB 速度を 12Mbps に設定してください。

4 メインウィンドウで［追加］をクリックします。

5 登録したいプロファイルを選択し、［選択］をクリックします。

メモ

- ICC プロファイルをクリックすると、リストに情報（説明、サイズ、日付、カラースペースなど）が表示されます。
- ICC プロファイルは通常［ライブラリ］>［ColorSync］>［Profiles］フォルダーに格納されています。
ICC プロファイルが見つからない場合は、その装置のメーカーにお問い合わせください。

6 プロファイルの種類を選択します。

7 プロファイルを登録したい番号を選択します。

登録した番号は、下線つきの太字で表示されます。登録済み番号を選択した場合、プロファイルは上書きされます。

8 必要な場合は、［コメント］欄にコメントを入力してください。

このコメントはプロファイルの一覧表示やカラープロファイルリストのレポートに表示されます。

9 ［追加］をクリックします。

10 登録したプロファイルがメインウィンドウのリストに表示されたことを確認し、［ファイル］から［閉じる］を選択します。

メモ

- 登録したプロファイルは、［グラフィックプロ］機能のカラーマッチングに使用できます。
- プロファイルアシスタントユーティリティーの次回以降の起動では手順２と３は省略され、最後に使用した装置にユーティリティーが接続されます。接続するプリンターを変更する場合は、手順４で［プリンタの選択］を選択します。

参照

- ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする方法については、「ICC プロファイルを使用したカラーマッチング（グラフィップロ）」（P.99）をご覧ください。
- カラープロファイルリストの印刷方法については、便利な機能 / 本体の設定編「カラープロファイルリスト」をご覧ください。

ICC プロファイルを使用したカラーマッチング（グラフィックプロ）

ICC プロファイルを使用して、カラーを調整したり管理することができます。カラーマッチングの実行、シミュレーション印刷の指定も可能です。この機能を使用する前に、入出力装置の ICC プロファイルを登録してください。

注

- Windows PCL プリンタードライバーを使用する場合は、[CMYK リンクプロファイル］を指定できません。
- Windows PS プリンタードライバーに ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックし、［ICM 無効］を選択します。

■ Windows の場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［カラー］タブを選択し、［グラフィックプロ］を選択して、［詳細］をクリックします。
5. 必要に応じて設定を変更し、［OK］をクリックします。

■ Mac OS X の場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。
3. パネルメニューから［カラー］を選択します。
4. ［グラフィックプロ］を選択して［詳細］をクリックします。
5. 必要に応じて設定を変更し、［OK］をクリックします。

アルファベット

A

C

D

E

I

M

N

O

P

R

S

T

U

W

かな

あ

い

お

か

く

し

せ

た

ち

て

と

ね

は

ひ

ふ

ほ

め

ゆ

り

ろ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

発行日 2012年 8月
45346601EE Rev1